

令和5年度

教育計画

釧路市立高等看護学院

# 2023年度 教育計画について

看護基礎教育の現場では、高齢化の進展による成人看護学実習と老年看護学実習対象者の重複、少子化による小児看護学実習や母性看護学実習の実習施設確保困難などの現状がある。さらに、看護職員の就業場所が医療機関以外に訪問看護事業所や介護保険施設あるいは地域にある多様な看護の拠点などに広がり、求められる能力が多様化している。看護職には多様性・複雑性に対応した看護を創造する能力が求められている状況をふまえ、2022 年度よりカリキュラムの変更がされた。

新しいカリキュラム(1・2学年)と以前のカリキュラム(3 学年)と混在している形となっている。新しいカリキュラムについては便宜上、「**新カリ**」と表示している。

2023 年 4 月 1 日



# 目次

## I 教育課程の概要

1. 釧路市立高等看護学院教育目的・目標 (p 1-2)
2. 主要概念 (p 3-4)
3. 学科目関連図 (p 5-6)
4. 看護教育課程の構造図 (p 7-8)
5. カリキュラム学科進捗表 (p 9-12)
6. 令和4年度年間行事予定 (p 13)

## II. 講義の概要

1. 基礎分野 (p 14-27)
2. 専門基礎分野 (p 28-49)
3. 専門分野 (p 50-87)
4. 専門分野Ⅱ (p 88-90)
5. 統合分野 (p 91-95)

# I .教育課程の概要



# 1. 釧路市立高等看護学院教育目的・目標

## 理 念

科学的思考を基盤とした看護の実践力、保健・医療・福祉全般にわたる広い視野、豊かな人間性を備えた人材を育成する。

## 教育目的・目標

### 1) 教育目的

看護師として必要な知識及び技術を習得し、豊かな人間性を養い、専門職業人としての自覚と責任を持ち、地域医療の充実に貢献し得る看護師を育成する。

### 2) 教育目標

- (1) 看護の対象である人間を多面的に把握し、統合的に理解できる能力を養う。
- (2) 人間のライフサイクルにおける健康の意義を理解し、あらゆる健康のレベルに対応できる能力を養う。
- (3) 看護の基礎的知識、技術を習得し、看護職としての基本的態度を身につける。
- (4) 保健・医療・福祉の概念を理解し、チーム医療における看護の役割と責任を果たせる能力を養う。
- (5) 専門職業人として主体的に学習を継続し、研究的態度を養う。

## 学年到達目標

### 1 学年

1. 健康的な生活習慣を確立する。
2. 問題意識をもって、ものごとを考えられる。
3. 自主的に学ぶ姿勢と感性を養う。
4. 看護概念及び基礎的看護技術を習得する。
5. 研究の基礎を学ぶ。

### 2 学年

1. 保健・医療・福祉を取り巻く社会状況に関心をもつことができる。
2. 医療従事者としての自覚をもち、相手の人格を尊重したかかわりができる。
3. 看護の対象を理解し、基本的な看護過程の展開ができる。
4. 看護研究を展開できる。

### 3 学年

1. 自己の看護観を明らかにし、看護者としての姿勢を確立する。
2. 看護の責任を果たせるよう、保健・医療・福祉の中での看護の位置づけ、役割を自覚できる。
3. 主体的に研究を継続する態度を養う。

## 期待される卒業生像

1. 社会の動向に関心を持ち、広い視野で物事をとらえる姿勢がそなわっている。
2. 専門職業人としての自覚を持ち、責任ある行動をとることができる。
3. 倫理的配慮ができ、個人を尊重した人間関係を築くことができる。
4. 科学的根拠に基づき、安全・安楽を考えた援助を实践できる。
5. よりよい看護をめざし、主体的に学習する姿勢を持ちつづけることができる。

# 1. 釧路市立高等看護学院教育目的・目標（新カリ）

## 理 念

科学的思考を基盤とした看護の実践力、保健・医療・福祉全般にわたる広い視野、豊かな人間性を備えた人材を育成する。

## 教育目的・目標

### 1. 教育目的

看護師として必要な知識及び技術を習得し、豊かな人間性と倫理観を養い、専門職業人としての自覚と責任を持ち、地域医療の充実に貢献し得る看護師を育成する。

### 2. 教育目標

- 1) 看護の対象である人間を多面的に把握し、統合的に理解できる能力を養う。
- 2) 人間のライフサイクルにおける健康の意義を理解し、あらゆる健康のレベルに対応できる能力を養う。
- 3) 看護の基礎的知識、技術を習得し、看護職としての基本的態度を身につける。
- 4) 保健・医療・福祉の概念を理解し、チーム医療における看護の役割と責任を果たせる能力を養う。
- 5) 専門職業人として主体的に学習を継続し、研究的態度を養う。

## 学年到達目標

### 1 学年

1. 健康的な生活習慣を確立する。
2. 問題意識をもって、ものごとを考えられる。
3. 自主的に学ぶ姿勢と感性を養う。
4. 看護概念及び基礎的看護技術を習得する。
5. 研究の基礎を学ぶ。

### 2 学年

1. 保健・医療・福祉を取り巻く社会状況に関心をもつことができる。
2. 医療従事者としての自覚をもち、相手の人格を尊重したかかわりができる。
3. 看護の対象を理解し、基本的な看護過程の展開ができる。
4. 看護研究を展開できる。

### 3 学年

1. 自己の看護観を明らかにし、看護者としての姿勢を確立する。
2. 看護の責任を果たせるよう、保健・医療・福祉の中での看護の位置づけ、役割を自覚できる。
3. 主体的に研究を継続する態度を養う。

## 期待される卒業生像（ディプロマポリシー）

1. 人間を尊い存在として幅広く理解する能力を身につけることができる。
2. 対象に関心を持ち、良好な人間関係を築くことができる。
3. 科学的根拠に基づき、安全安楽な看護を実践することができる。
4. 社会の変化に目を向け、地域で暮らす人々への支援を行うことができる。
5. 看護への関心を高め、探求心を持ち続けることができる。

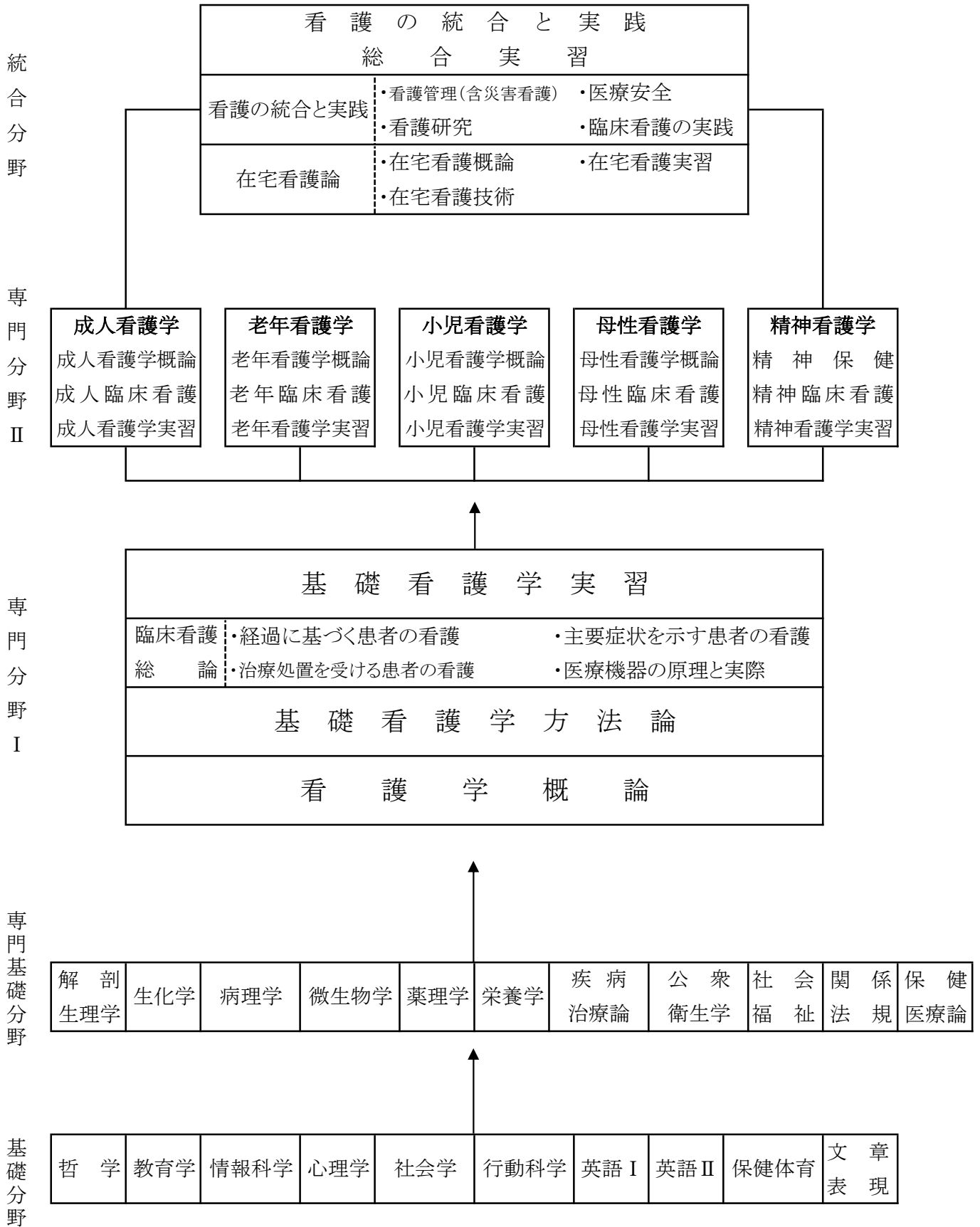
## 2. 主 要 概 念

	概 念
人 間	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体的、精神的、社会的に統合された存在である。</li> <li>2. 人間は、自然環境及び社会環境との相互作用のなかで生活し、絶えず変化している存在である。</li> <li>3. 人間は成長発達し続ける存在である。</li> <li>4. 人間は、感情、理性、思考能力をもち、様々なニーズを充足しながら行動している。</li> <li>5. 人間は尊厳を有する存在である。</li> </ol>
環 境	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境とは人間を取り巻くすべてを指し、社会的環境、自然的環境、文化的環境に大きく分ける。</li> <li>2. 環境は人間と相互作用し合って、人間の健康に影響を与えている。</li> </ol>
健 康	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康とは身体的、精神的、社会的にバランスがとれている状態であり、自分の能力を最大限に発揮できる状態である。</li> <li>2. 健康は個体要因と環境的要因との相互作用により成り立ち、常に流動的に変化する。</li> <li>3. 健康は個別的なものであり、自らの責任によって作りだされるものであると同時に、社会システムとして保障されなければならない。</li> </ol>
看 護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護は人間を対象として、対象との相互関係によって成り立つ。</li> <li>2. 看護は個々の健康の保持、増進、健康の回復（安らかな死）を目的とし、基本的ニーズの充足、自立（セルフケア）への援助を行う。</li> <li>3. 看護は対象の健康上の問題を判断し、個別に解決していくプロセスである。</li> <li>4. 看護はヒューマニズムにもとづく実践の科学であり、アートである。</li> <li>5. 看護は保健、医療、福祉チームの一員としての独自の機能と役割を担うものである。</li> <li>6. 看護は社会変動のニーズに対応するものである。</li> </ol>
学 習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習とは、学習者が主体的に経験を生かし、自己成長していく過程であり、内発的動機づけで促進されるものである。</li> <li>2. 教育とは、学習者が自己成長できるよう、個人の成長、発達の潜在能力を最大限に引き出すよう、学習環境を整えることである。</li> <li>3. 学習者と教育者はともに影響し合い向上する。</li> <li>4. 学習者は、専門職として将来にわたって自己啓発に努める責任がある。</li> </ol>

## 2. 主 要 概 念 (新カリ)

	概 念
人 間	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体的、精神的、社会的に統合された存在である。</li> <li>2. 人間は、自然環境及び社会環境との相互作用のなかで生活し、絶えず変化している存在である。</li> <li>3. 人間は成長発達し続ける存在である。</li> <li>4. 人間は、感情、理性、思考能力をもち、様々なニーズを充足しながら行動している。</li> <li>5. 人間は尊厳を有する存在である。</li> </ol>
環 境	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境とは人間を取り巻くすべてを指し、社会的環境、自然的環境、文化的環境に大きく分ける。</li> <li>2. 環境は人間と相互作用し合って、人間の健康に影響を与えている。</li> </ol>
健 康	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康とは身体的、精神的、社会的にバランスがとれている状態であり、自分の能力を最大限に発揮できる状態である。</li> <li>2. 健康は個体要因と環境的要因との相互作用により成り立ち、常に流動的に変化する。</li> <li>3. 健康は個別的なものであり、自らの責任によって作りだされるものであると同時に、社会システムとして保障されなければならない。</li> </ol>
看 護	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護は人間を対象として、対象との相互関係によって成り立つ。</li> <li>2. 看護は個々の健康の保持、増進、健康の回復（安らかな死）を目的とし、基本的ニーズの充足、自立（セルフケア）への援助を行う。</li> <li>3. 看護は対象の健康上の問題を判断し、個別に解決していくプロセスである。</li> <li>4. 看護はヒューマニズムにもとづく実践の科学であり、アートである。</li> <li>5. 看護は保健、医療、福祉チームの一員としての独自の機能と役割を担うものである。</li> <li>6. 看護は社会変動のニーズに対応するものである。</li> </ol>
学 習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習とは、学習者が主体的に経験を生かし、自己成長していく過程であり、内発的動機づけで促進されるものである。</li> <li>2. 教育とは、学習者が自己成長できるよう、個人の成長、発達の潜在能力を最大限に引き出すよう、学習環境を整えることである。</li> <li>3. 学習者と教育者はともに影響し合い向上する。</li> <li>4. 学習者は、専門職として将来にわたって自己啓発に努める責任がある。</li> </ol>

### 3. 学 科 目 関 連 図



### 3.カリキュラムツリー（新カリ）

DP

1.人間を尊い存在として幅広く理解する能力を身につけることができる。

2.対象に関心を持ち、良好な人間を築くことができる。

3.科学的根拠に基づき、安全安楽な看護を実践することができる。

4.社会の変化に目を向け、地域に暮らす人々への支援を行うことができる。

5.看護への関心を高め、探求心を持ち続けることができる。

3年

臨地実習（総合、成人Ⅲ、母性、小児、精神、地域・在宅Ⅲ・Ⅳ）

<専門分野> 看護管理、看護実践と医療安全、災害看護と国際看護、看護研究

<専門分野> 地域・在宅看護方法論Ⅲ、精神臨床看護Ⅱ、精神看護過程

<基礎科目>  
行動科学

<専門基礎分野>  
社会福祉、関係法規、保健医療論

9

2年

臨地実習（基礎看護学実習Ⅱ、成人老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ、地域・在宅看護実習Ⅱ）

<専門分野>

臨床看護総論 地域・在宅看護看護概論Ⅱ 成人臨床看護Ⅰ～Ⅳ 小児臨床看護Ⅰ・Ⅱ 母性看護学概論、精神看護学概論  
 地域・在宅看護方法論Ⅰ・Ⅱ 成人看護過程 小児看護過程 母性臨床看護Ⅰ・Ⅱ 精神臨床看護Ⅰ  
 地域・在宅看護過程 認知症の看護 母性看護過程

<基礎科目>  
英語Ⅱ、情報科学、保健体育Ⅱ、教育学

<専門基礎分野>  
薬理学・治療と検査

<専門基礎分野>  
公衆衛生学

<専門分野>  
看護研究方法論Ⅱ

1年

臨地実習（基礎看護学実習Ⅰ-1、Ⅰ-2、地域・在宅看護実習Ⅰ）

<専門分野>

看護学概論、看護倫理、基礎看護学方法論Ⅰ～Ⅶ、看護過程

<専門基礎分野>

解剖生理学、生化学、病理学、栄養学、微生物学、疾病治療論

<専門基礎分野>

健康支援

<専門分野>

看護研究方法論Ⅰ

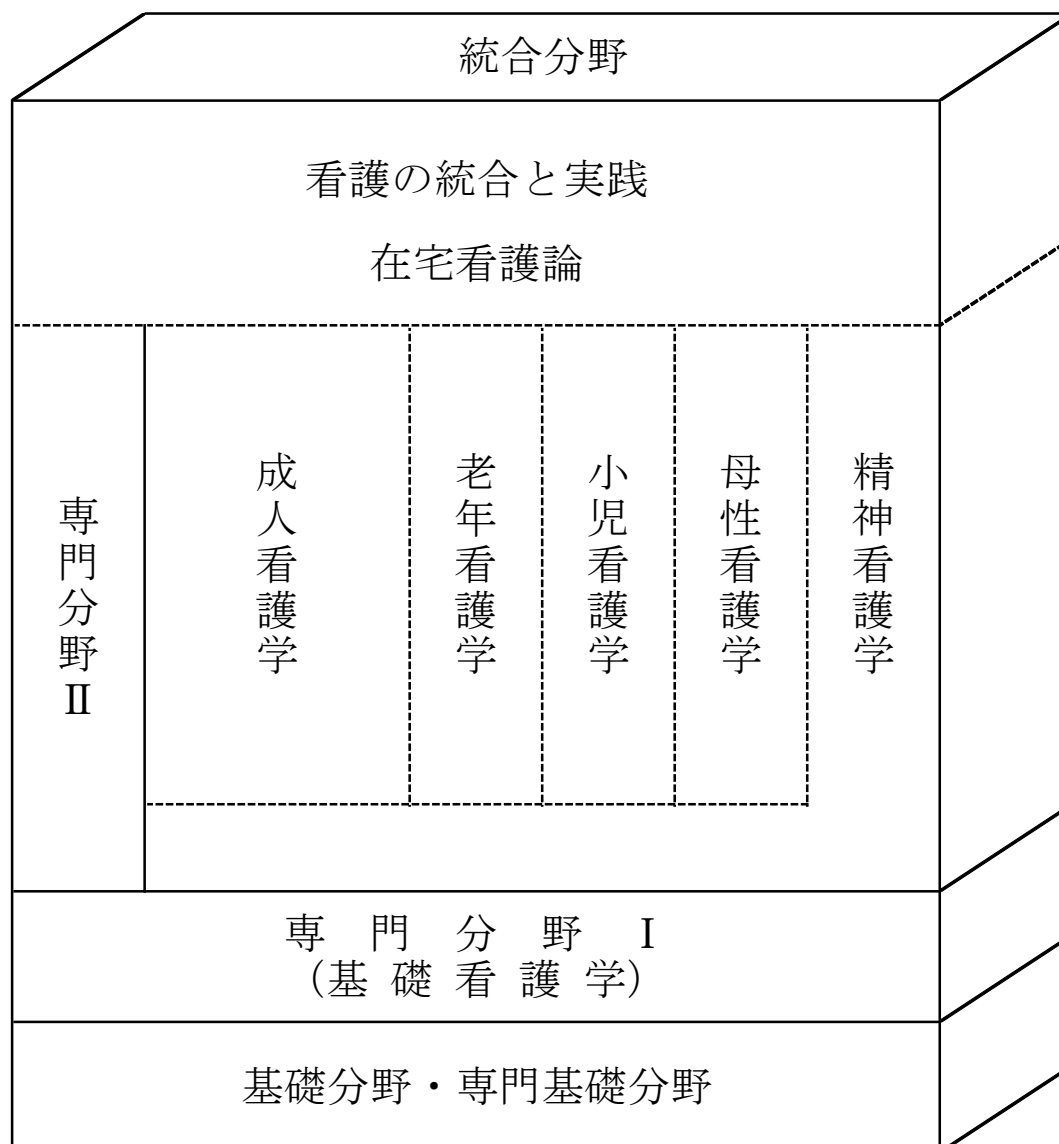
<基礎科目>

哲学 社会学 コミュニケーション  
 心理学 英語Ⅰ 文章表現  
 保健体育Ⅰ 日本の文化

<専門分野>

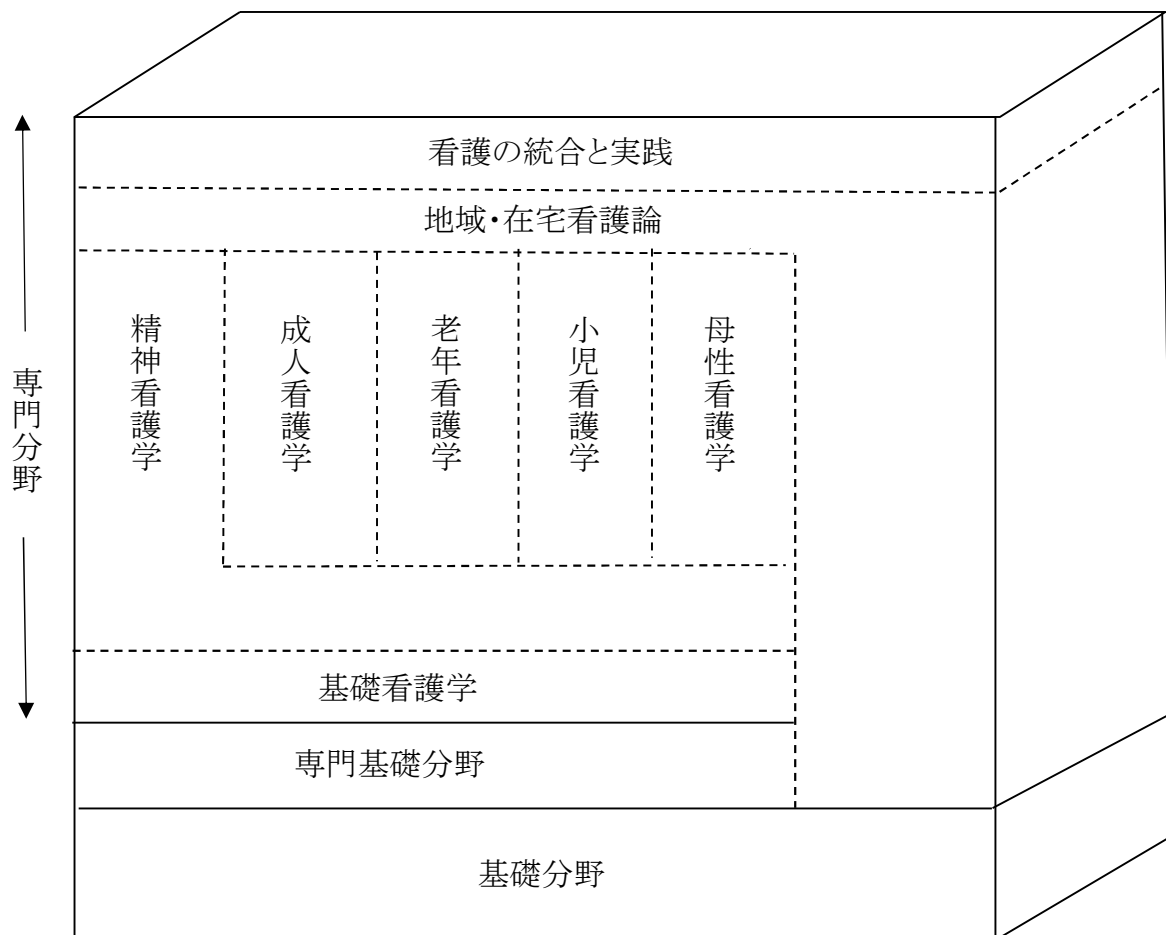
成人・老年・小児看護学概論、老年臨床看護、老年看護過程、地域・在宅看護概論Ⅰ

## 4. 看護教育課程の構造図



- ・基礎分野および専門基礎分野を土台とし、各看護学を位置づけた。  
看護学の基盤を専門分野 I（基礎看護学）とし、各看護学に共通した要素として精神看護学を置き、小児・母性・成人・老年看護学を並立させ、それぞれ関連しあっていることを表現している。  
上部に統合分野として看護の統合と実践、在宅看護論を置き、これまで学んできた知識・技術を統合した看護を実践することを表現している。

## 4. 看護教育課程の構造（新カリ）



基礎分野は、幅広いものの見方、考え方、そして看護職に必要な人間の理解につながる分野であり、専門基礎分野、専門分野の基礎として土台に位置付けた。

専門基礎分野は、看護を学ぶ上での基礎となるため次の段階の土台と考えた。

看護学の基盤を基礎看護学とし、各看護学に共通した要素として精神看護学をおき、小児・母性・成人・老年看護学を並立させ、それぞれ関連しあっていることを表現している。地域・在宅看護論は、各看護論、更に社会支援とのかかわりも深く専門基礎分野と関係していることを表している。

上部に看護の統合と実践をおき、これまで学んできた知識・技術を統合した看護を実践することを表現している。



5. 釧路市立高等看護学院カリキュラム学科進捗表

	厚生労働省指定		科 目	単 位 数	時 間 数	1 学年												2 学年												3 学年											
	教育内容	単位数				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3											
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活社会の理解	13	哲学	1	30	←→																																			
			教育学	1	30													←→																							
			情報科学	1	30													←→																							
			心理学	1	30	←→																																			
			社会学	2	30	←→																																			
			行動科学	2	30													←→																							
			英語 I	1	30	←→																																			
			英語 II	2	30													←→																							
			保健体育	1	30	←→																																			
			文章表現	1	30													←→																							
小 計		13		13	300	7 (180)												3 (60)												3 (60)											
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	15	解剖生理学 I <small>(総論、骨筋系、脳神経系)</small>	1	30	←→																																			
			解剖生理学 II <small>(消化器系、血液・リンパ、内分泌系)</small>	1	30	←→																																			
			解剖生理学 III <small>(循環器系、呼吸器系、腎・泌尿器系)</small>	1	30	←→																																			
			解剖生理学 IV <small>(生殖器官系、感覚器系眼・耳・皮)</small>	1	15													↔																							
			解剖生理学 V	1	15													↔																							
			生化学	1	30	←→																																			
			病理学	1	30	←→																																			
			微生物学	1	30	←→																																			
			薬理学	1	30	←→																																			
			栄養学	1	30	←→																																			
			疾病治療論 I <small>(消化器系、血液・リンパ、内分泌系)</small>	1	30	←→																																			
			疾病治療論 II <small>(循環器系、腎・泌尿器系)</small>	1	30	←→																																			
			疾病治療論 III <small>(呼吸器系)</small>	1	15	←→																																			
			疾病治療論 IV <small>(骨筋系、口腔疾患、感染症)</small>	1	30	←→																																			
			疾病治療論 V <small>(脳神経系、膠原病)</small>	1	30													←→																							
	疾病治療論 VI <small>(生殖器官系、感覚器系眼・耳・皮)</small>	1	30													←→																									
	健康支援と社会保障制度	6		公衆衛生学	1	15													←→																						
	社会福祉	2	30													←→						←→																			
	関係法規	2	30													←→						←→						←→													
保健医療論	1	15													←→						←→						←→														
小 計		21		22	525	14 (375)												3 (75)												5 (75)											
専門分野 I	基礎看護学	10	看護学概論	2	60	←→																																			
			基礎看護学方法論 I <small>(コミュニケーション、看護過程展開の技術)</small>	2	60	←→																																			
			基礎看護学方法論 II <small>(生体機能管理の技術 バイタルサイン)</small>	1	30	←→																																			
			基礎看護学方法論 III <small>(食事・排泄の援助技術)</small>	1	30	←→																																			
			基礎看護学方法論 IV <small>(環境・清潔・睡眠・休息援助技術)</small>	2	60	←→																																			
			基礎看護学方法論 V <small>(安全・安楽・活動に対する援助技術)</small>	1	30													↔																							
			基礎看護学方法論 VI <small>(与薬・指導技術)</small>	1	30													↔																							
			臨床看護総論	1	30													↔																							

		厚生労働省指定		単 位 数	時間数	1 学年												2 学年												3 学年											
専 門 分 野	教育内容	単 位 数	科 目			4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3											
専 門 分 野 I	臨地実習 基礎看護学	3	基礎看護学実習Ⅰ-1 14H 基礎看護学実習Ⅰ-2 31H 基礎看護学実習Ⅱ	1 2	45 90	↔												↔																							
小 計		13		14	465	1 2 ( 3 7 5 )												2 ( 9 0 )																							
専 門 分 野 II	成人看護学	6	成人看護学概論 成人臨床看護Ⅰ(急性期) 成人臨床看護Ⅱ(周手術期) 成人臨床看護Ⅲ(慢性・回復) 成人臨床看護Ⅳ(終末期) 成人臨床看護Ⅴ(検査・治療) 成人臨床看護Ⅵ(看護過程)	1 1 1 1 1 1 1	30 30 30 30 30 30 15	↔												↔↔↔																							
	老年看護学	4	老年看護学概論 老年臨床看護Ⅰ 老年臨床看護Ⅱ	2 1 1	45 30 15	↔↔												↔																							
	小児看護学	4	小児看護学概論 小児臨床看護Ⅰ 小児臨床看護Ⅱ 小児臨床看護Ⅲ	1 1 1 1	30 30 30 15	↔↔↔												↔↔												↔											
						母性看護学	4	母性看護学概論 母性臨床看護Ⅰ 母性臨床看護Ⅱ 母性臨床看護Ⅲ	1 1 1 1	30 30 30 15	↔↔↔												↔↔												↔						
	精神看護学	4	精神保健Ⅰ 精神保健Ⅱ 精神臨床看護Ⅰ 精神臨床看護Ⅱ	1 1 1 1	15 30 30 30	↔												↔												↔↔↔											
小 計		22		23	600	5 ( 1 2 0 )												1 5 ( 3 9 0 )												3 ( 9 0 )											
専 門 分 野 II	臨地実習	16	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6	270													↔↔↔																							
	老年看護学		老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ	4	180													↔↔												↔↔↔											
小児看護学	小児看護学実習		2	90																									↔↔↔												
母性看護学	母性看護学実習		2	90																									↔↔↔												
精神看護学	精神看護学実習		2	90																									↔↔↔												
小 計		16		16	720													8 ( 3 6 0 )												8 ( 3 6 0 )											
統 合 分 野	在宅看護論	4	在宅看護概論 在宅看護技術Ⅰ 在宅看護技術Ⅱ	1 2 1	30 30 30													↔												↔											
						看護の統合と実践	4	看護管理 医療安全 看護研究 臨床看護の実践Ⅰ 臨床看護の実践Ⅱ	1 1 1 1 1	30 30 30 15 15	↔↔↔												↔↔↔												↔↔↔						
	臨地実習 在宅看護論 看護の統合と実践	4	在宅看護実習 総合実習	2 2	90 90													↔												↔↔↔											
小 計		12		13	390													4 ( 7 5 )												9 ( 3 1 5 )											
総 計		97	総 計	101	3000	3 8 ( 1 0 5 0 )												3 5 ( 1 0 5 0 )												2 8 ( 9 0 0 )											

5. 釧路市立高等看護学院カリキュラム学科進度表(新カリ)

	厚生労働省指定		科目	単位数	時間数	1 学年												2 学年												3 学年											
	教育内容	単位数				4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3												4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3											
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活、社会の理解	14	哲学	1	30	←→																																			
			教育学	1	30							←→																													
			情報科学	1	30							←→																													
			心理学	1	30	←→																																			
			社会学	2	30	←→																																			
			行動科学	1	30													←→																							
			英語 I	1	30	←→																																			
			英語 II	1	15							←→																													
			保健体育 I	1	30	←→																																			
			保健体育 II	1	15							←→																													
			文章表現	1	30	←→																																			
コミュニケーション	1	15	←→																																						
日本の文化	1	15	←→																																						
小計		14		14	330	9 (210)												4 (90)												1 (30)											
専門基礎分野	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進	7	解剖生理学 I <small>(導入、総論、骨筋系、脳神経系)</small>	1	30	←→																																			
			解剖生理学 II <small>(導入、呼吸器系、循環器系)</small>	1	15	←→																																			
			解剖生理学 III <small>(導入、血液・リンパ系、内分泌・代謝系)</small>	1	15	←→																																			
			解剖生理学 IV <small>(導入、消化器系、腎・泌尿器系)</small>	1	15	←→																																			
			解剖生理学 V <small>(導入、感覚器系・耳・皮膚、女性生殖器系)</small>	1	15	←→																																			
			解剖生理学 VI	1	15							←→																													
			生化学	1	30	←→																																			
			病理学	1	30	←→																																			
			微生物学	1	30	←→																																			
			薬理学	1	30							←→																													
			栄養学	1	30	←→																																			
			治療と検査	1	30							←→																													
			疾病治療論 I <small>(骨筋系、脳神経系)</small>	1	30	←→																																			
			疾病治療論 II <small>(循環器系)</small>	1	15	←→																																			
			疾病治療論 III <small>(呼吸器系、消化器系、腎・泌尿器系)</small>	1	30	←→																																			
			疾病治療論 IV <small>(血液・リンパ系、内分泌・代謝系、膠原病)</small>	1	30	←→																																			
			疾病治療論 V <small>(感覚器系・耳・皮膚、女性生殖器系、歯・口腔系)</small>	1	30	←→																																			
			健康支援と社会保障制度	6	公衆衛生学	1	15							←→																											
					健康支援	1	30	←→																																	
社会福祉	2	30															←→																								
関係法規	1	30															←→																								
保健医療論	1	15													←→																										
小計		23		23	540	16 (390)												3 (75)												4 (75)											
専門分野	基礎看護学	13	看護学概論	1	30	←→																																			
			看護倫理	1	15	←→																																			
			看護過程	1	30	←→																																			
			基礎看護学方法論 I <small>(コミュニケーション、教育・指導技術)</small>	1	30	←→																																			
			基礎看護学方法論 II <small>(ヘルスアセスメント)</small>	1	30	←→																																			
			基礎看護学方法論 III <small>(食事・栄養、排泄)</small>	1	30	←→																																			
基礎看護学方法論 IV <small>(環境、活動・休息)</small>	1	30	←→																																						

	厚生労働省指定		科目	単 位 数	時間 数	1 学年												2 学年												3 学年																																															
	教育内容	単位数				4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
専 門 分 野	地域・在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 看護の統合と実践	6 6 4 4 4 4 4	基礎看護学方法論V (清潔、衣生活)	1	30	←→																																																																							
			基礎看護学方法論VI (感染予防、安全・安楽)	1	30													←→																																																											
			基礎看護学方法論VII (診療の補助技術)	1	30													←→																																																											
			臨床看護総論	1	30													←→																																																											
			看護研究方法論 I	1	15													←→																																																											
			看護研究方法論 II	1	30													←→																																																											
			地域・在宅看護概論 I	1	15	←→																																																																							
			地域・在宅看護概論 II	1	30													←→																																																											
			地域・在宅看護過程	1	15																									←→																																															
			地域・在宅看護方法論 I	1	15																									←→																																															
			地域・在宅看護方法論 II	1	30													←→																																																											
			地域・在宅看護方法論 III	1	15																									←→																																															
			成人看護学概論	1	30	←→																																																																							
			成人臨床看護 I (慢性期)	1	30													←→																																																											
			成人臨床看護 II (終末期)	1	30													←→																																																											
			成人臨床看護 III (周術期)	1	30													←→																																																											
			成人臨床看護 IV (急性期)	1	30													←→																																																											
			成人看護過程	1	15																									←→																																															
			老年看護学概論	1	30	←→																																																																							
			老年臨床看護	1	30													←→																																																											
			老年看護過程	1	15													←→																																																											
			認知症の看護	1	15													←→																																																											
			小児看護学概論	1	30	←→																																																																							
			小児臨床看護 I	1	30													←→																																																											
			小児臨床看護 II	1	30													←→																																																											
			小児看護過程	1	15																									←→																																															
			母性看護学概論	1	30													←→																																																											
			母性臨床看護 I	1	30													←→																																																											
			母性臨床看護 II	1	30													←→																																																											
			母性看護過程	1	15																									←→																																															
			精神看護学概論	1	30													←→																																																											
			精神臨床看護 I	1	30													←→																																																											
			精神臨床看護 II	1	30																									←→																																															
			精神看護過程	1	15																									←→																																															
			看護管理	1	15																									←→																																															
			看護実践と医療安全	1	30																									←→																																															
災害看護・国際看護	1	15																									←→																																																		
看護研究	1	30																									←→																																																		
小計	45		45	1140	1 7 (4 5 0)												2 1 (4 5 0)												7 (1 5 0)																																																
専 門 分 野	臨地実習	24	基礎看護学実習 I・II	3	135	◇												◇																																																											
			地域・在宅看護実習 I・II・III・IV	5	195													◇												←→ ←→																																															
			成人看護学実習 I・II・III	6	270																									←→ ←→																																															
			老年看護学実習	2	90													←→																																																											
			小児看護学実習	2	90																									←→ ←→																																															
			母性看護学実習	2	90																									←→ ←→																																															
			精神看護学実習	2	90																									←→ ←→																																															
			総合実習	2	90																									◇																																															
小計	24		24	1050	2 (7 5)												9 (3 7 0)												1 3 (5 8 5)																																																
総計	106		106	3060	4 4 (1 1 2 5)												3 7 (1 0 9 5)												2 5 (8 4 0)																																																

6. 令和5年度年間行事予定 釧路市立高等看護学院

	学年共通	1学年	2学年	3学年	教務
4月	入学式 11日(火) 新入生歓迎会 健康診断 授業料納入 24日(月)	オリエンテーション 12日(水)～14日(金) 講義開始 17日(月)	始業式 10日(月)		運営会議3日(月) 臨床指導者会議 25日(火)
5月	学院記念日1日(月) 避難訓練		基礎看護学実習Ⅱ 15日(月)～26日(金)		運営会議
6月		基礎看護学実習Ⅰ-1 6日(火) スポーツ交流会 27日(火)		臨地実習開始 12日(月)	
7月	授業料納入 24日(月)	夏季休暇 7/24(月)～8/18(金)		夏季休暇 7/24(月)～ 10/23(月) 実習グループにより 休暇時期異なる	臨床指導者会議 学院見学会
8月		始業 21日(月)			
9月		地域・在宅看護実習Ⅰ 12日(火)～22日(金)			学院見学会 推薦入学試験会議 推薦入試願書受付 推薦入学試験
10月	健康診断 授業料納入 24日(火)		臨地実習開始 23日(月)		推薦入試合否会議 臨床指導者会議
11月	宣誓式 10日(金)	基礎看護学実習Ⅰ-2 13日(月)～17日(金)			
12月			施設見学	総合実習 4日(月)～15日(金)	
		冬季休暇 12/18(月)～1/12(金)			
1月	授業料納入 24日(水)	始業 15日(月)			一般入学試験会議 一般入試願書受付 一般入学試験
			卒業認定会議	看護研究発表	
2月				第113回 看護師国家試験 卒業記念講演	一般入試合否会議 卒業認定会議
3月	卒業式 春季休暇 3/18(月)～4/5(金)		臨地実習終了 4日(月) 施設見学(精神看護学)		臨床指導者会議 単位認定会議
		終業式 15日(金)			

## Ⅱ.講義の概要

# 1.基礎分野

- 1) 教育学
- 2) 行動科学

# 講義概要

科目名	教育学	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	倉賀野 志郎			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            教育の基礎的な考え方を具体例を交えて考える</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回/2回: 教えよりも、まずは学びの世界の広がりから 働きかけに応じての世界像、歴を創ることにより発達、視点を変えて考える</li> <li>・ 3回/4回: 視点として対比で考える 「非」と「境界」と「普通」の対比、デキルからワカルへ、正答ではなくマチガイから</li> <li>・ 5回/6回: 異なるとのかわり 視線に着目しての非言語コミュニケーション、異なるを求めて</li> <li>・ 7回/8回: 働きかけが創り出す世界像 働きかけの基礎としての手と感覚から、食の好き嫌いから3歳の転換点を考える</li> <li>・ 9回/10回: 第二の脳としての腸に着目して 異なるを含めて自分の考え方を広くとらえる</li> <li>・ 11回/12回: 働きかけ働きかけられる可塑性に着目して 人間の可塑性、今も、歴史的にも、未来の課題</li> <li>・ 13回/14回: 教育を考える あそび・ゆとりの意味、共生・共育から教育へ</li> <li>・ 15回: 付録とテスト フィンランド学力から考える、テスト</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 教育学30時間のうち1時間を試験時間に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

# 講義概要

科目名	行動科学	3学年	時間 単位	30時間 2単位
担当講師	後藤 薫（臨床心理士）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>行動科学とは人間の行動を総合的に理解し、その法則性を解明しようとする学問です。人はどのような時にやる気を起こし、どのようにしたら行動を継続できるのか等を考えていきます。医療においては、不健康な行動をどのように変容させ、健康的な行動をどのように継続することができるかなどの課題に対し、考える視点となるでしょう。</p> <p>目標：患者を含む他者が、なぜその不健康な行動をしているのか。どうしたら健康的な行動を促進させられるのか。そのようなことを科学的な視点で考えることが出来るようになること。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介、授業の進め方の説明</li> <li>・健康信念モデル（ヘルス・ビリーフ・モデル）</li> <li>・自己効力感（セルフ・エフィカシー）</li> <li>・変化のステージモデル</li> <li>・計画的行動理論</li> <li>・ストレスとコーピング</li> <li>・ソーシャルサポート（社会的支援）</li> <li>・コントロール所在</li> </ul> <p>また、毎週4コマのうち1コマは、“メタ認知トレーニング”というスライドを使ったトレーニングを行います。「メタ認知」とは、「認知の認知」という意味で、思い込みや勘違いを防ぎ、自分の精神的健康や対人関係を良好にするためのトレーニングです。看護師として対人支援を行う上で重要なスキルを獲得できます。</p>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>松本千明 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 医歯薬出版</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 行動科学 30時間のうち1時間を試験時間に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				



# Ⅱ.講義の概要

## 1.基礎分野 (新カリ)

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1) 哲学   | 8) 保健体育Ⅰ      |
| 2) 教育学  | 9) 保健体育Ⅱ      |
| 3) 情報科学 | 10) 文章表現      |
| 4) 心理学  | 11) コミュニケーション |
| 5) 社会学  | 12) 日本の文化     |
| 6) 英語Ⅰ  |               |
| 7) 英語Ⅱ  |               |

■は1年生での科目

# 講義概要

科目名	哲学	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	釧路公立大学 本間 義啓			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 事物の根源についての考え方を学び、人間理解ができる基礎を養う。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イントロダクション：哲学とは何か</li> <li>・ より良い生とは何か：ソクラテス</li> <li>・ 幸福とは何か：アリストテレス</li> <li>・ 自由とは何か：カントの哲学</li> <li>・ 他者に対する責任とは何か：レヴィナスの哲学</li> <li>・ 自然環境について考える：環境倫理学について</li> <li>・ 動物に対する人間の倫理：動物解放論と食肉の問題</li> <li>・ 死について考える：生命倫理学</li> <li>・ 命の誕生について考える：ケアの倫理学</li> <li>・ 家庭環境の問題について考える：精神分析の倫理</li> <li>・ なぜ人間は倫理意識をもつのか：フロイト（1）</li> <li>・ 超自我とは何か：フロイト（2）</li> <li>・ 他者との言語的關係：ラカン</li> <li>・ なぜ誰かを憎むようになるのか：ロゴザンスキの哲学</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 哲学30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講義概要

科目名	教育学	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	倉賀野 志郎			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            教育の基礎的な考え方を具体例を交えて考える</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回/2回: 教えよりも、まずは学びの世界の広がりから 働きかけに応じての世界像、歴を創ることにより発達、視点を変えて考える</li> <li>・ 3回/4回: 視点として対比で考える 「非」と「境界」と「普通」の対比、デキルからワカルへ、正答ではなくマチガイから</li> <li>・ 5回/6回: 異なるとのかわり 視線に着目しての非言語コミュニケーション、異なるを求めて</li> <li>・ 7回/8回: 働きかけが創り出す世界像 働きかけの基礎としての手と感覚から、食の好き嫌いから3歳の転換点を考える</li> <li>・ 9回/10回: 第二の脳としての腸に着目して 異なるを含めて自分の考え方を広くとらえる</li> <li>・ 11回/12回: 働きかけ働きかけられる可塑性に着目して 人間の可塑性、今も、歴史的にも、未来の課題</li> <li>・ 13回/14回: 教育を考える あそび・ゆとりの意味、共生・共育から教育へ</li> <li>・ 15回: 付録とテスト フィンランド学力から考える、テスト</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 教育学30時間のうち1時間を試験時間に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

## 講義概要

科目名	情報科学	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	北海道教育大学釧路校 廣重 真人（情報技術教育）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 初歩的な統計処理を学び、情報の分析、解析機能の基礎を身につける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報とは</li> <li>・ コンピュータとは</li> <li>・ 成績表の作成</li> <li>・ 四則演算</li> <li>・ グラフ作成</li> <li>・ ヒストグラム作成</li> <li>・ セキュリティについて（パスワード管理、設定）</li> <li>・ プレゼンテーションの作成</li> <li>・ 動画のCM作成</li> <li>・ 学校案内の作成</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 個人課題を5段階評価し100点に換算して評価する</p> <p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

## 講 義 概 要

科目名	心理学	1学年	時間	30時間
			単位	1単位
担当講師	①北海道教育大学釧路校 小渕 隆司 (発達心理学) ②北海道教育大学釧路校 半澤 礼之 (発達心理学)			
<授業のねらい> 人間理解のための基礎的知識を身につけ、臨床心理学を学ぶ能力を養う				
<講義内容> 15時間 ①担当：小渕 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚・知覚の心理</li> <li>・知的機能</li> <li>・創造性</li> <li>・心理的援助の構造と倫理</li> <li>・カウンセリングと精神分析</li> <li>・認知行動療法</li> </ul> 14時間 ②担当：半澤 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各期の発達段階と心理的特徴</li> <li>・社会、集団の心理</li> <li>・健康の心理と人間理解、患者の理解</li> <li>・主観的統制感と健康</li> <li>・看護という職業の理解</li> </ul>				
<教科書・参考書> 長田 久雄 看護学生のための心理学 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 心理学30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳： (①担当50点) (②担当50点)				

# 講義概要

科目名	社会学	1学年	時間 単位	30時間 2単位
担当講師	釧路公立大学 北島 義和（地域社会学、環境社会学）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            社会の構造や集団・家族の機能や構造について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会学とは</li> <li>・ 性別について 生物学的 医学的性差 社会的文化的性差、性別役割分業</li> <li>・ 性について</li> <li>・ 映画鑑賞 意見発表</li> <li>・ 日本人とは</li> <li>・ 日本人というネーションの歴史</li> <li>・ 植民地の形成 ナショナリズムの危険性</li> <li>・ 在日コリアンのルーツ 在日コリアンへの理解を深めるために</li> <li>・ 映画鑑賞 グループディスカッション 意見発表</li> <li>・ 過去と現在の食料自給率の変化</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            講義終了後にレポート課題を提出し、評価とする</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	英語 I	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	釧路短期大学 岩松 恵			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 医療・看護に必要な単語・文法などの基礎的な能力を養う</p>				
<p>&lt;講義内容&gt; オリエンテーション 授業の進め方と評価方法 授業の準備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Pre-Unit Introducing Myself and family (自己紹介)</li> <li>・ Unit 1 Hospital Departments (病院の科)</li> <li>・ Unit 2 Application Forms (問診票の記入)</li> <li>・ Unit 3 Parts of the Body (身体のパーツ)</li> <li>・ Unit 4 Illness (病気の種類)</li> <li>・ Unit 5 Hospital Routine (病院の日課)</li> <li>・ Unit 6 Hospital Objects (医療用品)</li> <li>・ Unit 7 Locations of Hospital Objects (医療用品の収納場所)</li> <li>・ Unit 8 Hospital Directions and Instructions (病院内の案内)</li> </ul> <p>・各Unitの復習とまとめ(プリントによる確認)</p>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 師岡ヴィヴィアン、杉浦テリー Vital Signs 2 南雲堂</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 英語 I 30時間のうち1時間を試験に充てる。 提出物、授業に対する姿勢を加味する。</p> <p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	英語Ⅱ	2学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	釧路短期大学 岩松 恵			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 看護に関するわかりやすい読み物や会話を通して、将来必要な英語の4技能を身につける。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション 授業の進め方と評価方法 授業の準備について Chapter1 What Is a Nurse?(看護とは)</li> <li>2. Chapter2 The History of Nursing (看護の歴史)</li> <li>3. Chapter3 Patient-Nurse Relationship (患者と看護師の関係)</li> <li>4. Chapter4 Communication with a Patient (患者とのコミュニケーション)</li> <li>5. Chapter6 Doctor-Nurse Relationship (医師と看護師の関係)</li> <li>6. Chapter7 Related Professionals (関連のある職業に人々)</li> <li>7. Chapter10 Nursing in the Future (未来の看護)</li> <li>8. 試験</li> </ol>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p style="padding-left: 40px;">English for Nursing Students 南雲堂</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 英語Ⅱ15時間のうち1時間を試験に充てる 提出物、授業に対する姿勢を加味する。</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				



# 講義概要

科目名	保健体育 I	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	山本 瑠美			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            体育理論・実技を学び健全な身体を育成し，集団行動力や協調性を身につける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション                授業のねらいと進め方，ならびにからだ慣らしの運動を行なう</li> <li>・ 実技（長縄跳び、ドッジビー、バドミントン、バレーボールなど）</li>   <li>・ まとめ                講義全体の振り返りを行う</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            なし</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            日々の講義の取り組みと講義の中での実技を総合的に判断し点数化する</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

## 講義概要

科目名	保健体育Ⅱ	2学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	山本 瑠美			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>身体の効率的な動かし方、効果的な動作の取得などの実践的な運動スキルを高めるとともに、個人のメンタルコントロールや対人コミュニケーションを通し協調性などの社会的スキルの向上をめざす。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション 授業のねらいと進め方，ならびにからだ慣らしの運動を行なう</li> <li>・ 実技（ボッチャなどの障がい者スポーツも体験する） グループでのスポーツをし、作戦や対策なども話し合い、グループダイナミクス発揮する</li> <li>・ まとめ 講義全体の振り返りを行う</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>なし</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>日々の講義の取り組みと講義の中での実技を総合的に判断し点数化する</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	文章表現	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	津田 順二			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 文章表現力を高めるために、文章表現の基礎を学ぶ。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画の概要 授業にあたって 国語力の向上とは 言語技術と論理的思考 国語力と言語技術</li> <li>・ ことばの力を学ぶⅠ ことばを学ぶことの意味 ことば遊び等</li> <li>・ ことばの力を学ぶⅡ 「文字」を学ぶ 漢字 仮名遣い</li> <li>・ ことばの力を学ぶⅢ 言葉のイメージ 言葉の意味 敬語とその用法</li> <li>・ 文章の組み立てに挑む 思いを書く</li> <li>・ 文章作成の実際Ⅰ 実習日誌の書き方など 文章の構成 表現とは何か</li> <li>・ 文章作成の実際Ⅱ 公文書、案内状など 段落と文章構成 段落の関係と倫理 接続の重要性</li> <li>・ 文章作成の実際Ⅲ 小論文（感想文） 報告文を書こう 新聞記事に学ぶ</li> <li>・ 文章作成の実際Ⅳ 小論文（主張のある文） 主張を文章にする 論説文の書き方 論説文をどう構成するか</li> <li>・ 論理的な構成の文章 思いから自らの意思を明確にする</li> <li>・ 調査、データからの構想 調査データを読み解く 論理の組み立て</li> <li>・ 文学してみる 書評を書く ビブリオバトルの実施</li> <li>・ 会議とスピーチ 会議の意義と運営の原則 参加者の心得</li> <li>・ 思考過程を文章に まとめとしての小論文</li> <li>・ 文章表現のまとめ 学習内容の振り返り</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 日々の講義の取り組みと講義中の課題の内容を総合的に判断し点数化する</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講義概要

科目名	コミュニケーション	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①石澤 奈未子（臨床心理士） ②杉田 美和（釧路聴力障害者協会 常務理事） 蠣崎日出雄（釧路聴力障害者協会 理事長） 他			
<授業のねらい> 人間を人との関係で成長する存在として捉え、人間関係を円滑に保つ必要性和方法について理解するとともに体験学習を通して多様なコミュニケーション技術を養う。				
<講義内容> ①石澤講師（9時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニケーションの基礎</li> <li>・ 人間関係の向上スキル</li> <li>・ カウンセリングの基礎 ①傾聴技法</li> <li>・ カウンセリングの基礎 ②共感 ③応答の技法</li> <li>・ 表情の機能と表情から伝わること</li> <li>・ 非言語的コミュニケーション</li> <li>・ アンガーマネジメント</li> <li>・ アサーティブコミュニケーション</li> <li>・ アサーショントレーニング</li> </ul> ②杉田講師 蠣崎講師（6時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話の基本</li> <li>・ 手話で挨拶をする</li> <li>・ 困っている人へ手話で話しかける</li> </ul>				
<教科書・参考書> ①石澤講師：担当講師が作成したプリントを資料して使用する ②杉田・蠣崎講師：今すぐはじめる手話聴さんと学ぼう！ 全日本ろうあ連盟				
<評価方法> コミュニケーション15時間のうち1時間を試験に充てる ①石澤講師：筆記試験 ②杉田・蠣崎講師：日々の講義の取り組みと講義の中での実技を総合的に判断し点数化する				
<配点> 100点 内訳：（①担当60点） （②担当40点）				

# 講義概要

科目名	日本の文化	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	北海道教育大学釧路校 中西 沙織			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>日本の音楽文化を中心に上げ、日本の芸能史、音楽・芸能の鑑賞、実技の体験を通して日本の伝統芸能・伝統音楽についての理解を深める。特に能に焦点をあて、謡・舞の実技を体験し、演劇的特徴、舞台空間、構造、型、囃子（唱歌）などについて学習する。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本音楽史概観—日本の芸能・音楽の始まりから現代へ</li> <li>・ シルクロードの芸能と音楽</li> <li>・ 日本の声楽—芸能と「声」の表現</li> <li>・ 能① 能の歴史、観阿弥と世阿弥の時代</li> <li>・ 能② 能の舞台空間、演劇的特徴</li> <li>・ 能③ 能の物語と表現</li> <li>・ 能④ 謡と舞 その一</li> <li>・ 能⑤ 謡と舞 その二</li> <li>・ 能⑥ 囃子と唱歌（ショウガ）</li> <li>・ 能⑦ 世阿弥と稽古哲学の現代性</li> <li>・ 狂言</li> <li>・ 歌舞伎① 歌舞伎の歴史、技法と構造</li> <li>・ 歌舞伎② 歌舞伎の鑑賞法、歌舞伎の音楽</li> <li>・ 箏曲</li> <li>・ まとめと振り返り</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>担当講師が作成したプリントを資料して使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>講義内の課題・活動、講義への取り組み、講義終了後のレポート課題から総合的に評価する</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

## Ⅱ.講義の概要

# 2.専門基礎分野

- 1) 社会福祉
- 2) 関係法規
- 3) 保健医療論

# 講 義 概 要

科目名	社会福祉	3学年	時間 単位	30時間 2単位
-----	------	-----	----------	-------------

担当講師	匹田 美紀子			
------	--------	--	--	--

<授業のねらい>

社会保障・社会福祉の制度やそれを担う体制、社会福祉行政の関連について理解するとともに、その活用について学びを深め、臨床現場で必要とされる他職種との連携に役立てることができるようになる。

<講義内容>

- ・オリエンテーション
- ・社会保障制度と社会福祉①～③
- ・現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向①～②
- ・社会福祉の歴史
- ・医療保障①～⑤
- ・所得保障①～⑤
- ・公的扶助①～②
- ・介護保障①～⑤
- ・社会福祉の分野とサービス（高齢者福祉）
- ・社会福祉の分野とサービス（障害者福祉①～②）
- ・社会福祉の分野とサービス（児童家庭福祉①）
- ・社会福祉実践と医療・看護①～②

<教科書・参考書>

系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③ 医学書院  
 社会福祉士国試ナビ2022、介護福祉士国試ナビ2023  
 最新・介護福祉士養成講座 社会と制度の理解 中央法規 他

<評価方法>

筆記試験 30時間のうち1時間を試験に充てる

<配点>

100点

# 講 義 概 要

科目名	関係法規	3学年	時間 単位	30時間 2単位
担当講師	①齊藤 綾(看護師実務経験19年) ②山本剛史 (市立病院総務課職員) ③本川聡 (薬剤師) ④市役所職員			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 人々の健康を守り、看護師としての責務を果たすための基本的な法律について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt; 13時間 ①担当：齊藤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護法（保健師助産師看護師法、看護師の人材確保の促進に関する法律他）</li> <li>・医事法（医療関係資格法、医師法、医療法他）</li> <li>・保健衛生法（地域保健法、母子保健法、予防接種法、精神保健福祉法</li> <li>・地域保健法、健康増進法</li> </ul> <p>2時間 山本</p> <p>②担当：市立病院総務課職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医事法（医師法、医療法、医療関係資格法 他）</li> </ul> <p>4時間 本川</p> <p>③担当：薬剤師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬務法（医薬品医療機器等法、麻薬及び向精神薬取締法 他）</li> </ul> <p>2時間</p> <p>④担当：市役所職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法の概念</li> </ul> <p>2時間</p> <p>④担当：市役所職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険法、費用保障（健康保険法、国民健康保険法 他）</li> </ul> <p>2時間</p> <p>④担当：市役所職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険法、費用保障（高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法 他）</li> </ul> <p>2時間</p> <p>④担当：市役所職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉法（社会福祉法、児童福祉法、老人福祉法 他）</li> </ul> <p>2時間</p> <p>④担当：市役所職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法（労働基準法、労働安全衛生法 他）、社会基盤整備</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 全範囲について①担当が試験問題を作成する 30時間のうち1時間を試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt; 100点</p>				



## 講義概要

科目名	保健医療論	3学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	今泉 俊雄 (市立釧路総合病院 脳外科医師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            医学・医療の原点を学び、現代医療を取り巻く新しい動向や抱えている問題を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命誕生の歴史</li> <li>・医学・医療のあゆみ</li> <li>・健康と疾病</li> <li>・健康の概念</li> <li>・医学と医療</li> <li>・医療保障の現状と課題</li> <li>・現代医療における諸問題</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            新体系看護学全書 現代医療論      メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 15時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

## Ⅱ.講義の概要

# 2.専門基礎分野

(新カリ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1) 解剖生理学Ⅰ | 12) 治療と検査  |
| 2) 解剖生理学Ⅱ | 13) 疾病治療論Ⅰ |
| 3) 解剖生理学Ⅲ | 14) 疾病治療論Ⅱ |
| 4) 解剖生理学Ⅳ | 15) 疾病治療論Ⅲ |
| 5) 解剖生理学Ⅴ | 16) 疾病治療論Ⅳ |
| 6) 解剖生理学Ⅵ | 17) 疾病治療論Ⅴ |
| 7) 生化学    | 18) 公衆衛生学  |
| 8) 病理学    | 19) 健康支援   |
| 9) 微生物学   |            |
| 10) 薬理学   |            |
| 11) 栄養学   | は1年生での科目   |

# 講義概要

科目名	解剖生理学 I	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①阿部 初月 (助産師実務経験24年) ②大嶺 律 (市立釧路総合病院 外科医師) ③梅本 貴央 (市立釧路総合病院 整形外科医師) ④今泉 俊雄 (市立釧路総合病院 脳神経外科医師)			
<授業のねらい> 1. 人体の構成と組織、ホメオスタシスについて理解する 2. 骨筋系、脳神経系の構造及び機能について理解する				
<講義内容> 4時間…導入 ①担当：阿部 ・解剖生理学 I を学ぶにあたっての調べ学習  5時間…総論 ②担当：大嶺医師 ・人体とは ・人体の素材としての細胞・組織 ・構造と機能からみた人体  10時間…骨筋系 ③担当：梅本医師 ・骨格とは ・骨の連結 ・骨格筋 ・体幹、上肢、下肢の骨格と筋 ・頭頸部の骨格と筋 ・筋の収縮  10時間…脳神経系 ④担当：今泉医師 ・神経系の構造と機能 ・脊髄と脳 ・脊髄神経と脳神経 ・脳の高次機能 ・運動機能と下行伝導路 ・感覚機能と上行伝導路				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 解剖生理学 I の30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳： (②担当20点) (③担当40点) (④担当40点)				

# 講義概要

科目名	解剖生理学Ⅱ	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①山口 梨沙 (看護師実務経験9年) ②田中 那保 (市立釧路総合病院 呼吸器内科医師) ③高柳 涼 (市立釧路総合病院 心臓血管外科医師)			
<授業のねらい> 呼吸器系・循環器系の構造及び機能について理解する				
<講義内容> 2時間…導入 ①担当：山口 <ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖生理学Ⅱを学ぶにあたっての調べ学習</li> </ul> 6時間…呼吸器系 ②担当：田中医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器の構造</li> <li>・呼吸</li> <li>・血液</li> </ul> 6時間…循環器系 ③担当：高柳医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器系の構成</li> <li>・心臓の構造</li> <li>・心臓の拍出機能</li> <li>・末梢循環系の構造</li> <li>・血液循環の調節</li> <li>・リンパとリンパ管</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 解剖生理学Ⅱの15時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳： (②担当50点) (③担当50点)				

# 講義概要

科目名	解剖生理学Ⅲ	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①山口梨沙（看護師実務経験9年） ②岡澤 林太郎（市立釧路総合病院 緩和ケア内科医師） ③幾島 拓也（市立釧路総合病院 外科医師）			
<授業のねらい> 血液・リンパ系及び内分泌代謝系の構造及び機能について理解する				
<講義内容> 2時間…導入 ①担当：山口 <ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖生理学Ⅲを学ぶにあたっての調べ学習</li> </ul> 5時間…血液リンパ系 ②担当：岡澤医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液</li> <li>・リンパとリンパ管</li> </ul> 7時間…内分泌・代謝 ③担当：幾島医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律神経による調節</li> <li>・内分泌系による調節</li> <li>・全身の内分泌腺と内分泌細胞</li> <li>・ホルモン分泌の調節</li> <li>・ホルモンによる調節の実際</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 解剖生理学Ⅲの15時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳：（②担当40点） （③担当60点）				

# 講義概要

科目名	解剖生理学Ⅳ	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①阿部初月（助産師実務経験24年） ②那須野 央（市立釧路総合病院 消化器内科医師） ③若杉 英樹（市立釧路総合病院 消化器内科医師） ④廣里 優樹（市立釧路総合病院 泌尿器科医師） ⑤野々山 将（市立釧路総合病院 泌尿器科医師）			
<授業のねらい> 消化器系、腎・泌尿器系の構造及び機能について理解する				
<講義内容> 2時間…導入 ①担当：阿部 ・解剖生理学Ⅳを学ぶにあたっての調べ学習  3時間…消化器系 ②担当：那須野医師 ・口・咽頭・食道の構造と機能 ・腹部消化管の構造と機能（胃・十二指腸・小腸）  3時間…消化器系 ③担当：若杉医師 ・腹部消化管の構造と機能（大腸） ・膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 ・腹膜  3時間…腎泌尿器系 ④担当：廣里医師 ・腎臓 ・排尿路  3時間…腎泌尿器系 ⑤担当：野々山医師 ・体液の調節 ・男性生殖器				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 解剖生理学Ⅳの15時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳：（②担当25点）（③担当25点）（④担当25点）（⑤担当25点）				

# 講義概要

科目名	解剖生理学V	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①齊藤綾（看護師実務経験19年） ②神 未央奈（市立釧路総合病院 産婦人科医師） ③栗山 周子（市立釧路総合病院 眼科医師） ④坂下 智博（市立釧路総合病院 耳鼻咽喉科医師） ⑤中村 裕之（市立釧路総合病院 皮膚科医師）			
1. 女性生殖器系の構造及び機能について理解する 2. 感覚器系(眼・耳・皮膚)の構造及び機能について理解する				
<講義内容> 2時間…導入 ①担当：齊藤 ・解剖生理学Vを学ぶにあたっての調べ学習  3時間…女性生殖器系 ②担当：神医師 ・女性生殖器 ・受精と胎児の発生 ・成長と老化  3時間…感覚器系目 ③担当：栗山医師 ・眼の構造と視覚  3時間…感覚器系耳 ④担当：坂下医師 ・耳の構造と聴覚・平衡感覚 ・味覚と嗅覚  3時間…感覚器系皮膚 ⑤担当：中村医師 ・皮膚の構造と機能 ・生体の防御機構 ・体温とその調節				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 解剖生理学Vの15時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳： (②担当25点) (③担当25点) (④担当25点) (⑤担当25点)				

# 講義概要

科目名	解剖生理学VI	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	田口 彩華（看護師実務経験11年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            人体の構造と機能を既習の知識をもとに統合し理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合的にみる人体の構造と機能（演習）               <ul style="list-style-type: none"> <li>息をする</li> <li>眠る</li> <li>食べる</li> <li>トイレに行く</li> <li>お風呂に入る</li> <li>動く</li> </ul> </li> <li>・まとめ</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 解剖生理学VIの15時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				



# 講義概要

科目名	生化学	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	北海道教育大学釧路校 森 健一郎 (教科教育学)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            人体を構成する物質と生体内の物質代謝及び遺伝子情報とその発達を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学の基礎知識</li> <li>・栄養素の構造と性質</li> <li>・糖質代謝</li> <li>・脂質代謝</li> <li>・タンパク質とアミノ酸の代謝</li> <li>・酵素の構造と機能</li> <li>・核酸とヌクレオチドの代謝</li> <li>・エネルギー代謝の統合と制御</li> <li>・遺伝子発現の調節、先天性代謝異常</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            人体の構造と機能 臨床生化学 メディカ出版</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 生化学30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

# 講義概要

科目名	病理学	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	古岡 秀文			
<p>&lt;授業のねらい&gt;          病気の原因や種々の病気によりもたらされる身体内部の変化について学び、科学的根拠に基づく医療・看護を行うための基礎的知識を得る。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病理学の概要</li> <li>・病気の原因</li> <li>・細胞・組織の傷害</li> <li>・組織の修復と創傷治癒</li> <li>・循環系の概要、浮腫、充血、うっ血</li> <li>・虚血、梗塞、ショック</li> <li>・高血圧症、D I C</li> <li>・炎症、免疫、アレルギーと自己免疫疾患</li> <li>・移植と再生医療</li> <li>・感染症と宿主の防御機構</li> <li>・主な感染症と病原体</li> <li>・代謝障害の定義、脂質代謝障害</li> <li>・タンパク質代謝障害、糖尿病、痛風等</li> <li>・老化と死</li> <li>・先天異常、遺伝子・染色体異常</li> <li>・腫瘍の定義、良性腫瘍、悪性腫瘍</li> <li>・腫瘍の拡がり、腫瘍発生病理、腫瘍の診断と治療</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;          系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;          筆記試験 病理学30時間のうち1時間を試験時間に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;          100点</p>				

# 講義概要

科目名	微生物学	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①高川千春(看護実務経験17年) ②土師美和(感染認定看護師) ③豊原 隆(市立釧路総合病院 救急科医師) ④田中梨菜(市立釧路総合病院小児科医師)			
<授業のねらい> 微生物の生態と人体への影響を知り、感染症の知識・予防について理解する				
<講義内容> 担当：7時間①高川 ・微生物学とは ・細菌の性質 ・真菌・原虫・ウイルスについて 担当：6時間②土師 ・感染と感染症 ・滅菌と消毒  担当：6時間③豊原 ・感染症の検査と診断 ・感染症の治療 担当：10時間④田中 ・感染症の現状と対策 ・病原細菌と細菌感染症 ・病原ウイルスとウイルス感染症 ・病原真菌と真菌感染症 ・寄生虫と衛生動物				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門基礎分野 微生物学 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 微生物学30時間のうち1時間を試験に充てる  <配点> 100点				

# 講 義 概 要

科目名	薬理学	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①鎌田 裕介（薬剤師） ②高瀬 啓一（看護師実務経験8年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 薬物の特徴、作用機序、人体への影響などについての概要を知り、取り扱い管理方法を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①担当：鎌田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬理学とは何か</li> <li>・薬物療法の基礎</li> <li>・対症療法薬の臨床薬理学 解熱鎮痛薬 制吐薬 便秘治療薬 下痢治療薬 鎮咳・去痰薬 鎮静薬 睡眠薬</li> <li>・主要疾患の臨床薬理学 高血圧症 急性冠症候群 心不全 不整脈 抗血小板・抗凝固療法 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患 胃・十二指腸潰瘍 胃食道逆流症 慢性肝炎 慢性腎臓病 透析における薬物管理 糖尿病 脂質異常症 骨粗鬆症 関節リウマチ パーキンソン病 認知症 うつ病・うつ状態 てんかん</li> <li>・特定の行為に関する臨床薬理学 循環動態にかかわる持続点滴中の薬剤の投与と調整 栄養及び水分管理にかかわる薬剤の投与と調整 インスリン投与量の調整 精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整 感染兆候がある者に対する薬物の臨時投与 副腎皮質ステロイド薬による治療</li> <li>・術後ならびに呼吸管理にかかわる薬物の投与と調整</li> </ul> <p>②担当：高瀬 薬理学についてのまとめ（演習）</p>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 別巻 臨床薬理学 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 薬理学30時間のうち1時間を試験時間に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講義概要

科目名	栄養学	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	釧路短期大学 室田 享子（管理栄養士）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            人体に必要な栄養及び食事療法に必要な基礎知識を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養とは、看護と栄養</li> <li>・ 栄養素の種類とはたらき</li> <li>・ 食物の消化と栄養素の吸収</li> <li>・ 栄養素の代謝</li> <li>・ エネルギー代謝</li> <li>・ 食事と食品</li> <li>・ 栄養ケアマネジメント</li> <li>・ 栄養評価と判定</li> <li>・ ライフステージと栄養（乳児期～学童期）</li> <li>・ ライフステージと栄養（青年期～高齢期）</li> <li>・ 臨床栄養（病院食 栄養補給法）</li> <li>・ 臨床栄養（疾患別食事療法・・・循環器・消化器疾患他）</li> <li>・ 臨床栄養（疾患別食事療法・・・代謝疾患・腎疾患他）</li> <li>・ 臨床栄養（場面別の栄養管理）</li> <li>・ 健康づくりと食生活</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            系統看護学講座 栄養学 人体の構造と機能③ 医学書院            星沢 卓也 新食品成分表2023 東京法令出版株式会社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 栄養学30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

# 講義概要

科目名	治療と検査	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①小野寺俊輔 曾山武士（放射線科医師）    ②大橋さと子（臨床検査技師） ③中澤裕允 森本あゆみ（理学療法士）    ④佐藤利予（言語聴覚士）			
<授業のねらい> 1. 各種検査の意義、方法、検査実施に向けた基礎的知識を学ぶ。 2. 治療場面における看護の必要性と、安全・安楽に治療を受けられるような援助の方法を学ぶ				
<講義内容> 8時間 ①担当：小野寺俊輔 曾山武士（放射線科医師） ・放射線療法を受ける患者の看護  8時間 ②担当：大橋さと子（臨床検査技師） ・臨床検査を受ける患者の看護  9時間 ③担当：中澤裕允 森本あゆみ（理学療法士） ・運動療法を受ける患者の看護 ・身体、精神に障害のある患者の看護  4時間 ④担当：佐藤利予（言語聴覚士） ・音声機能、言語機能、聴覚に障害のある患者の看護				
<教科書・参考書> 別巻 リハビリテーション看護    医学書院                      別巻 臨床検査    医学書院 別巻 臨床放射線医    医学書院                      専門分野 慢性期看護    ニューヴェルヒロカワ				
<評価方法> 筆記試験 検査と治療の30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳（①担当30点）（②担当30点）（③担当30点）（④担当10点）				

# 講義概要

科目名	疾病治療論 I (骨筋系・脳神経系)	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①下段 俊 (市立釧路総合病院 整形外科医師) ②鈴木 健吾 (市立釧路総合病院 脳神経外科医師) ③坂下 恭也 (市立釧路総合病院 脳神経外科医師)			
<授業のねらい> 骨筋系、脳神経系疾患の病態生理、疾患の成り立ちや症状、治療、検査について理解する				
<講義内容> 14時間 ①担当：下段医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器疾患の特徴 (痛み、変形、機能障害)</li> <li>症状とその病態生理</li> <li>検査と治療・処置</li> <li>疾患の理解</li> <li>(外傷性の運動疾患, 内因性の運動器疾患骨粗鬆症, 関節の炎症, 神経の疾患)</li> </ul> 7時間 ②担当：鈴木医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭蓋内圧行進と脳ヘルニア、脳卒中、くも膜下出血と治療</li> <li>・正常水頭症、脳動静脈奇形、脳動脈瘤、脳内出血、脳ヘルニア</li> <li>・脳梗塞の種類と治療法</li> <li>・ラクナ梗塞とアテローム血栓性脳梗塞</li> <li>・もやもや病</li> </ul> 8時間 ③担当：坂下医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部外傷</li> <li>・びまん性軸索損傷</li> <li>・脳腫瘍・神経膠腫瘍・髄膜腫</li> <li>・脳神経系の感染症</li> <li>・脳血管性認知症</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 成人看護学⑩ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦ 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 疾病治療論 I の30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳： (①担当50点) (②担当25点) (③担当25点)				

# 講義概要

科目名	疾病治療論Ⅱ(循環器系)	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①市立釧路総合病院 循環器内科医師			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 循環器系の病態生理、疾患の成り立ちや症状、治療、検査について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt; 14時間 ①担当：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器系疾患の症状とその病態生理 胸痛 動悸 呼吸困難 浮腫 チアノーゼ めまい・失神 四肢の疼痛 ショック</li> <li>・検査と治療 心電図 画像検査 心臓カテーテル検査 血行モニタリング 内科的治療 外科的治療 補助循環装置</li> <li>・循環器系疾患の理解 虚血性心疾患 心不全 血圧異常 不整脈 弁膜症 心膜炎 心筋疾患 先天性疾患 動脈系疾患 静脈系疾患 リンパ系疾患</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 疾病治療論Ⅱの15時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				



# 講義概要

科目名	疾病治療論Ⅲ(呼吸器系、消化器系、腎・泌尿器系)	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①田中 那保 (市立釧路総合病院 呼吸器内科医師) ②鈴木 一也 (市立釧路総合病院 消化器内科医師) ③米澤 和彦 (市立釧路総合病院 消化器内科医師) ④谷口 成実 青柳 俊紀 高田 祐輔 野々山 将 廣里 優樹 (市立釧路総合病院 腎泌尿器科医師)			
<授業のねらい> 呼吸器系、消化器系、腎・泌尿器系の病態生理、疾患の成り立ちや症状、治療、検査について理解する				
<講義内容> 10時間 ①担当：田中医師 ・検査と治療 血液検査 喀痰検査 胸水検査 画像検査 内視鏡検査 生検 呼吸機能検査 吸入療法 酸素療法 人工呼吸療法 呼吸理学療法 気道確保 胸腔ドレナージ 外科的療法 ・呼吸器系疾患の理解 感染症 間質性肺疾患 気道疾患 肺血栓塞栓症 呼吸不全 呼吸調節に関する疾患 肺腫瘍 肺動脈瘤 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 肺移植 胸部外傷 5時間 ②担当：鈴木医師 ・消化器系疾患の理解 (病態と検査・治療を含む) 食道癌 胃癌 胃食道逆流症 胃・十二指腸疾患 胃炎と大腸癌 腸及び腹膜疾患 5時間 ③担当：米澤医師 ・消化器系疾患の理解 (病態と検査・治療を含む) 肝臓・胆嚢の疾患 膵臓の疾患 院内感染について 9時間 ④担当：谷口医師 青柳医師 高田医師 野々山医師 廣里医師 尿の異常 排尿に関連した症状 浮腫 脱水 循環器系の異常 血液の異常 ・検査と治療・処置 尿及び分泌物検査 腎機能検査 画像検査 内視鏡検査 生検 内科的治療 外科的治療 腎・泌尿器系のがんの治療 排尿管理 透析療法 ・腎・泌尿器系疾患の理解 腎不全と慢性腎臓病 ネフローゼ症候群 糸球体腎炎 腎血管性病変 全身性疾患による腎障害 妊娠高血圧症 尿路・性器の感染症と腫瘍 発生・発育の異常 男性生殖器疾患				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧ 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 疾病治療論Ⅲの30時間のうち1時間を試験に充てる <配点> 100点 内訳： (①担当35点) (②担当20点) (③担当15点) (④担当30点)				

## 講義概要

科目名	疾病治療論Ⅳ (血液リンパ・内分泌代謝・膠原病)	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①岡澤 林太郎 (市立釧路総合病院 緩和ケア内科医師) ②米澤 和彦 (市立釧路総合病院 消化器内科医師) ③阿部 敬 (市立釧路総合病院 消化器内科医師)			
<授業のねらい> 血液・リンパ系、内分泌・代謝系疾患、膠原病の病態生理、疾病の成り立ちや症状、治療、検査について理解する				
<講義内容> 10時間 ①担当：岡澤医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液系疾患の検査と診断 病歴聴取と身体所見 血液検査 生検検査</li> <li>・血液疾患の症状と病態生理 貧血 白血球増加症, 減少症 脾腫 リンパ節腫脹 出血性素因</li> <li>・疾患と治療の理解</li> </ul> 9時間 ②担当：米澤医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患の理解・検査・治療 体重変化・身長 of 異常 容貌の変化 神経・筋症状 循環器・消化器症状 皮膚の変化 無月経 内分泌疾患の検査 代謝疾患の検査</li> </ul> 10時間 ③担当：阿部医師 <ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫のしくみ、検査と治療</li> <li>・気管支喘息, アレルギー性鼻炎, アトピー性皮膚炎, 薬物アレルギー</li> <li>・アナフィラキシー</li> <li>・膠原病の症状とその病態生理</li> <li>・自己免疫疾患とその機序</li> <li>・シェーグレン症候群、関節リウマチ、SLE、ベーチェット病</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器 成人看護学④ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー、膠原病、感染症 成人看護学⑩ 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 疾病治療論Ⅳの30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳： (①担当35点) (②担当30点) (③担当35点)				

# 講義概要

科目名	疾病治療論Ⅴ（感覚器系眼・耳・皮膚、女性生殖器系、乳房、口腔疾患）	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①栗山周子(市立釧路総合病院眼科医師) ②坂下智博(市立釧路総合病院耳鼻咽喉科医師) ③中村裕之(市立釧路総合病院皮膚科医師) ④神未央奈(市立釧路総合病院産婦人科医師) ⑤大嶺 律(市立釧路総合病院外科医師) ⑥高橋 浩師 川口 泰 (市立釧路総合病院歯科医師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>感覚器系疾患、女性生殖器系疾患、口腔疾患の病態生理、疾病の成り立ちや症状、治療、検査について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①担当：栗山医師 5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近視、遠視、乱視、老視、麦粒腫など</li> <li>・結膜・涙器・角膜の疾患、水晶体の疾患・白内障</li> <li>・眼底（網膜・脈絡膜）の疾患、緑内障・視神経・視路の疾患</li> </ul> <p>②担当：坂下医師 5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内耳・外耳の疾患と検査</li> <li>・鼻の構造、機能、診察、検査、疾患</li> <li>・口腔・咽頭の構造と機能、口腔・咽頭・頸部の疾患</li> <li>・頸部疾患（甲状腺・副甲状腺疾患）</li> </ul> <p>③担当：中村医師 8時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原発疹、続発疹、皮膚科で行う検査や治療</li> <li>・湿疹・皮膚炎、接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎</li> <li>・蕁麻疹、紅斑、水癌症、角化症</li> <li>・汗の分泌腺の疾患、毛・爪に関する疾患</li> <li>・紫斑を呈する皮膚疾患, 光線性皮膚疾患, 温熱による障害, 寒冷による障害</li> <li>・細菌・真菌・ウイルス・寄生虫感染症、良性・悪性腫瘍</li> </ul> <p>④担当：神医師 4時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産婦人科とは, 女性生殖器系疾患の症状とその病態生理, 診察法・検査法</li> <li>・先天性代謝異常・染色体異常・奇形</li> <li>・子宮筋腫・子宮腺筋腫・子宮内膜症・卵巣良性腫瘍</li> <li>・子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん</li> <li>・月経異常症、不妊症について、性感染症</li> </ul> <p>⑤担当：大嶺医師 2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳房の疾患の症状と検査、治療（乳がん、乳腺良性腫瘍、乳腺良性腫瘍性疾患）</li> <li>・乳房の炎症</li> </ul> <p>⑥担当：高橋医師 川口医師 5時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯・口腔周囲の構造と機能</li> <li>・口腔障害</li> <li>・疾患の理解（歯の異常と疾患 口腔出血, 歯周組織の疾患 顎関節症 皮膚科的疾患）</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼 成人看護学⑬ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉 成人看護学⑭ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮ 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 疾病治療論Ⅴの30時間のうち1時間を試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p> <p>内訳 (①担当15点) (②担当15点) (③担当30点) (④担当10点) (⑤担当10点) (⑥担当20点)</p>				

# 講義概要

科目名	公衆衛生学	2学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①高瀬啓一（看護師実務経験8年） ②市役所健康推進課保健師			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 保健衛生の基本内容、生活者の健康の保持・増進に対応した法制度および保健活動について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①担当：高瀬 8時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生を学ぶにあたって</li> <li>・環境と健康（地球規模の健康と環境、身のまわりの環境と健康）</li> <li>・国際保健</li> <li>・保健統計</li> <li>・集団の健康をとらえるための手法－疫学</li> <li>・精神保健、歯科保健</li> <li>・難病支援・障害支援</li> <li>・感染症対策</li> <li>・学校と健康</li> <li>・職場と健康</li> <li>・健康危機管理・災害保健</li> </ul> <p>②担当：市役所健康推進課保健師 2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生の理念、公衆衛生とは何か</li> <li>・世界の公衆衛生の歴史/日本における公衆衛生</li> <li>・ヘルスプロモーション</li> <li>・公衆衛生を看護に取り込む力</li> <li>・公衆衛生の活動対象</li> </ul> <p>②担当：市役所健康推進課保健師 2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生のしくみ (政策展開、国と地方自治体の役割、専門職のはたらき、住民と協働)</li> </ul> <p>②担当：市役所健康推進課保健師 2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健 (母子保健、成人保健、高齢者保健)</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度③ 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 全範囲について①担当が試験問題を作成する 15時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講義概要

科目名	健康支援	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①労災病院 金子 和崇（心理判定員） ②田口 彩華（看護師実務経験12年） ③速水 陽（市役所介護高齢課）			
<授業のねらい> 心の健康の維持増進を図るための援助について知り、各発達段階における保健・医療・福祉政策の概要を学び、保健活動と看護の役割について理解する				
<講義内容> ①担当：金子 14時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神保健概論 日本での精神保健の歴史 精神の健康 地域と精神保健、予防活動と新しい概念であるリカバリー、司法精神医療看護について学ぶ</li> <li>・脳からみた心の動きについて 脳の構造と認知機能、高次脳機能障害を学ぶ 力動論からみた心の働きと精神疾患について フロイトの理論とフロイトの後継者たちの理論 自我心理学</li> <li>・フロイトの後継者たちの理論 対象関係論（独立学派、中間学派） 家族の心の健康について 家族機能、結婚と夫婦関係 親子関係、家族のライフサイクルシステムとしての家族から考える</li> <li>・学校と精神の健康 子供の精神症状いじめ不登校などの心の問題と教員の心の問題について学習 現在の仕事や職場における労災やメンタルヘルの問題について学習 地域の抱える社会問題と心の健康を支える取り組みや支援機関について学習</li> <li>・実技～ストレスチェックと動作法を用いてのリラクセーション</li> </ul> ②担当：田口 13時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢社会の統計的輪郭</li> <li>・超高齢社会における保健医療福祉の動向</li> <li>・高齢者の権利擁護</li> <li>・高齢者とヘルスプロモーション</li> <li>・保健医療福祉施設および住居施設における看護</li> <li>・治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護</li> <li>・多職種連携実践による活動</li> </ul> ③担当：速水 2時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・釧路市における高齢者に対する保健福祉サービス</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 新体系 看護学全書 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社				
<評価方法> 筆記試験：30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳：（①担当50点）（②担当50点）				

# Ⅱ.講義の概要

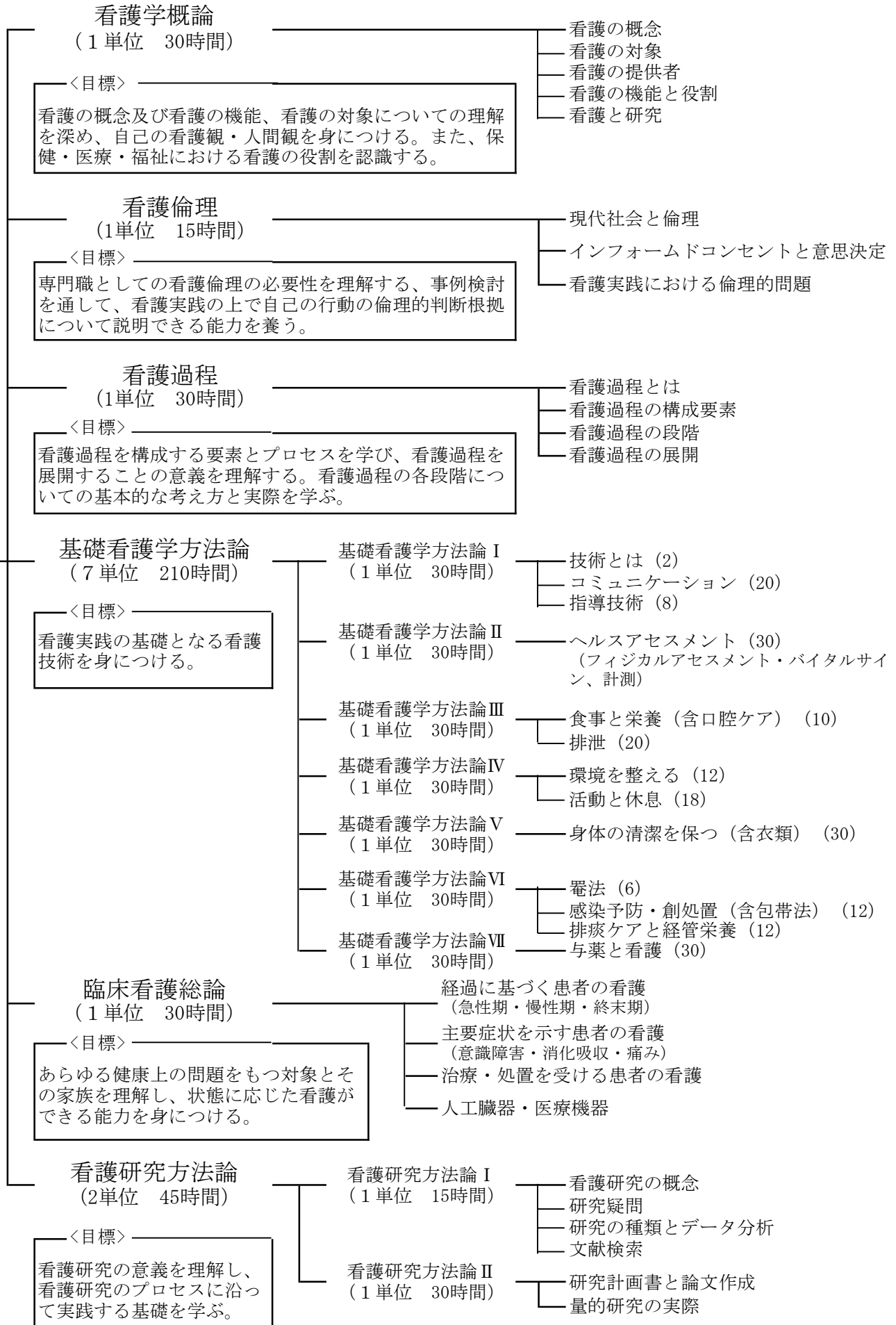
## 3.専門分野 (新カリ)

- 1) 看護学概論
- 2) 看護倫理
- 3) 看護過程
- 4) 基礎看護学方法論 I～VII
- 5) 臨床看護総論
- 6) 看護研究方法論 I
- 7) 看護研究方法論 II
- 8) 地域・在宅看護概論 I
- 9) 地域・在宅看護概論 II
- 10) 地域・在宅看護過程
- 11) 地域・在宅看護方法論 I～II
- 12) 成人看護学概論
- 13) 成人臨床看護 I～IV
- 14) 成人看護過程
- 15) 老年看護学概論
- 16) 老年臨床看護
- 17) 老年看護過程
- 18) 認知症の看護
- 19) 小児看護学概論
- 20) 小児臨床看護 I～II
- 21) 小児看護過程
- 22) 母性看護学概論
- 23) 母性臨床看護 I～II
- 24) 母性看護過程
- 25) 精神看護学概論
- 26) 精神臨床看護 I

# 基礎看護学

目的：看護の概念・役割・機能・対象を理解し、看護行為の基礎となる知識、技術、態度を身に付ける。

基礎看護学（13単位）  
360時間



# 講 義 概 要

科目名	看護学概論	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	高川 千春（看護師実務経験18年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>看護の概念及び看護の機能、看護の対象についての理解を深め、自己の看護観・人間観を身に付ける。また、保健・医療・福祉における看護の役割を認識する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護とは</li> <li>・看護の変遷</li> <li>・看護の理論家による看護の定義（理論家について調べ学習、グループワーク）</li> <li>・看護実践とその質保証に欠かせない要件</li> <li>・看護の継続性と連携</li> <li>・看護の対象の理解</li> <li>・国民の健康状態と生活</li> <li>・看護の提供者</li> <li>・看護提供のしくみ</li> <li>・広がる看護の活動領域</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 医学書院          F・ナイチンゲール 看護覚え書き 現代社          ヴァージニア・ヘンダーソン 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 看護学概論30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				



# 講 義 概 要

科目名	看護倫理	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	高川 千春（看護師実務経験18年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            専門職としての看護倫理の必要性を理解する            事例検討を通して、看護実践の上で自己の行動の倫理的判断根拠について説明できる能力を養う。検討を通して、看護実践の上で自己の行動の倫理的判断根拠について説明できる能力を養う。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会と倫理                なぜ倫理について学ぶのか                職業倫理としての看護倫理</li> <li>・ 医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理                患者の権利とインフォームドコンセント                患者の意思決定支援と守秘義務                現代医療における様々な倫理的問題                医療専門職の倫理規定</li> <li>・ 看護実践における倫理問題への取り組み                看護の本質としての看護倫理                医療をめぐる倫理原則とケアの倫理                看護実践場面での倫理的ジレンマ                倫理的課題に取り組むためのしくみ</li> <li>・ 事例検討（動画）グループワーク</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 医学書院            峰村淳子・石塚睦子 よくわかる看護職の倫理綱領 照林社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;            筆記試験 看護学概論15時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;            100点</p>				

# 講義概要

科目名	看護過程	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	高瀬 啓一（看護師実務経験8年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程を構成する要素とプロセスを学び、看護過程を展開することの意義を理解する。</li> <li>2. アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価といった看護過程の各段階についての基本的な考え方と実際を学ぶ。</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察とは</li> <li>・ 看護過程とは</li> <li>・ 看護過程の変遷</li> <li>・ 看護における情報収集</li> <li>・ 看護過程の5つの構成要素</li> <li>・ 看護過程を展開する際に基盤となる考え方</li> <li>・ 看護過程の各段階（アセスメント、看護問題の明確化、計画立案、実施、評価）</li> <li>・ 個別性の看護とは</li> <li>・ 事例に基づく看護過程の展開</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院</p> <p>新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メヂカルフレンド社</p> <p>第4版看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 スーヴェルヒロカワ</p> <p>自分で描ける病態関連図 照林社</p> <p>実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド 照林社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 看護過程30時間のうち1時間を筆記試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>筆記試験 100点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論 I	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①山口梨沙（看護師実務経験9年）②大西博子（看護師）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 患者に対するあらゆる看護活動を実践する場合の基礎となる技術を身に付ける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>2時間 ①担当：山口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術とは</li> <li>・看護技術の特徴</li> <li>・看護技術の範囲</li> <li>・看護技術を適切に実践するための要素</li> </ul> <p>20時間 ②担当：大西</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの意義と目的</li> <li>・コミュニケーションの構成要素と成立過程</li> <li>・関係構築のためのコミュニケーションの基本</li> <li>・効果的なコミュニケーションの実際</li> <li>・コミュニケーション障害への対応</li> </ul> <p>7時間 ①担当：山口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に関する看護の意義と基礎知識</li> <li>・個人、集団を対象とした指導</li> <li>・指導の実際</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学② 医学書院          系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II 基礎看護学③ 医学書院          新体系 看護学全書 基礎看護技術 I 基礎看護学② メヂカルフレンド社          新体系 看護学全書 基礎看護技術 II 基礎看護学③ メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 基礎看護学方法論 I の30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点 内訳 (①担当30点) (②担当70点)</p>				

# 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論Ⅱ	1 学年	時間 単位	30時間 1 単位
担当講師	佐々木 秀樹（看護師実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 人間を身体・心理・社会的存在としてとらえ、対象者の健康問題を把握し、適切な看護を提供するために必要な技術を身につける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスアセスメントとは</li> <li>・フィジカルアセスメントとは</li> <li>・バイタルサインとは 体温測定、脈拍測定、呼吸測定、呼吸の異常、血圧測定、血圧</li> <li>・健康歴の聴取</li> <li>・身体の計測 身長、体重、胸囲、腹囲、視力、聴力、握力、肺活量</li> <li>・シミュレーターを使用した観察の実際 呼吸器系のフィジカルアセスメント 循環器系のフィジカルアセスメント 乳房と腋窩のフィジカルアセスメント 腹部のフィジカルアセスメント 筋・骨格系のフィジカルアセスメント</li> <li>・経時記録の書き方</li> <li>・バイタルサイン測定のデモンストレーションと演習</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② 医学書院 新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② メヂカルフレンド社 看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメントがみえる メディックメディア</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 基礎看護学方法論Ⅱの30時間の授業のうち、1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論Ⅲ	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	阿部 初月（助産師実務経験24年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 人々の食事・排泄行動を援助するための基本的方法を身につける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事と栄養 <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の意義</li> <li>食事と栄養の基礎</li> <li>入院患者の食事</li> <li>食事の援助</li> <li>口腔ケア</li> <li>経口以外の栄養療法（中心静脈栄養）</li> <li>食事援助の演習</li> </ul> </li> <li>・排泄 <ul style="list-style-type: none"> <li>排泄とは</li> <li>排便の生理</li> <li>排尿の観察・アセスメント</li> <li>排泄に関する使用器具・設備      排泄に関する援助</li> <li>陰部洗浄</li> <li>導尿とは</li> <li>洗浄とは</li> <li>排便を促す援助</li> <li>グリセリン浣腸の演習</li> </ul> </li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院  新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 基礎看護学方法論Ⅲ30時間の授業のうち、1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論Ⅳ	1 学年	時間 単位	30時間 1 単位
担当講師	①山口梨沙（看護師実務経験9年）②田口彩華（看護師実務経験11年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 療養環境を構成する要素を理解し、病室・病床のアセスメントと環境の調整について学ぶ</li> <li>2. ベッドの周囲と病床の環境整備、ベッドメイキング、リネン交換の実際について学ぶ</li> <li>3. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解する</li> <li>4. 移乗の援助と移送方法について学ぶ</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>12時間</p> <p>①担当：山口</p> <p style="padding-left: 20px;">環境とは 環境調整の意義 病室と病床の構成 病棟の構造 室内気候とは 採光・照明・音・色彩・臭気・換気 ベッド周囲の環境整備 ベッドメイキング（演習） 臥床患者のリネン交換 病床の整備</p> <p>17時間</p> <p>②担当：田口</p> <p style="padding-left: 20px;">活動と休息 ボディメカニクス～姿勢と移動～とは 看護場面の姿勢と動作 トランスファーについて 車椅子・ストレッチャー・歩行への介助 安静保持の援助 睡眠の援助</p>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 基礎看護学方法論Ⅳ30時間のうち1時間を試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点 内訳 (①担当40点) (②担当60点)</p>				

# 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論Ⅴ	1 学年	時間 単位	30時間 1 単位
担当講師	吉谷 理絵(看護師実務経験20年)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;            人々の清潔に対する援助を行うための基本的方法を身につける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p style="margin-left: 20px;">衣生活の意義と身だしなみ            臥床患者の病衣交換(演習)            清潔の意義            清潔の援助の実際            入浴・シャワー浴、            陰部洗浄、手浴、足浴(演習)、洗髪(演習)、全身清拭(演習)</p>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p style="margin-left: 20px;">系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院            新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p style="margin-left: 20px;">筆記試験 基礎看護学方法論Ⅴ30時間のうち1時間を試験に充てる            実技試験 清潔の援助技術</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p style="margin-left: 20px;">筆記試験 90点            実技試験 10点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論VI	1 学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①藤原敦子（看護師実務経験10年）②大西博子（看護師）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>    罨法の種類と罨法が身体に及ぼす影響を理解しその実際について学ぶ</p> <p>    感染経路別予防策を学び、適切に実践できるようにする</p> <p>    呼吸を整える技術を理解し、排痰ケアと経管栄養の実際について学ぶ</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>5時間：罨法</p> <p>①担当：藤原</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・罨法の種類と技術</li> <li>・罨法の実践</li> </ul> <p>12時間：感染予防と創処置（含包帯法）</p> <p>②担当：大西</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染の基礎知識</li> <li>・感染防止対策</li> <li>・感染経路別予防策</li> <li>・無菌操作の基礎知識</li> <li>・無菌操作の演習</li> <li>・創傷管理の基礎知識と創傷処置</li> <li>・包帯法</li> </ul> <p>12時間：排痰ケアと経管栄養</p> <p>①担当：藤原</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排痰ケア</li> <li>・吸引と経管栄養の実際</li> <li>・胸腔ドレナージ</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学② 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II 基礎看護学③ 医学書院</p> <p>新体系 看護学全書 基礎看護技術 I 基礎看護学② メヂカルフレンド社</p> <p>新体系 看護学全書 基礎看護技術 II 基礎看護学③ メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 基礎看護学方法論VI30時間のうち1時間を筆記試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p> <p>配点 (①担当60点) (②担当40点)</p>				



## 講 義 概 要

科目名	基礎看護学方法論Ⅶ	1 学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	齊藤 綾（看護師実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 与薬を実践する場合の基礎となる技術を身につける</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与薬の基礎知識</li> <li>・ 薬に関する法律</li> <li>・ 与薬の方法</li> <li>・ 与薬の援助</li> <li>・ 酸素吸入療法</li> <li>・ 注射の基礎知識</li> <li>・ 注射と安全</li> <li>・ 注射の準備</li> <li>・ 注射の実施法と輸血管理</li> <li>・ 注射の演習</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② 医学書院          系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院          新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学② メヂカルフレンド社          新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 基礎看護学方法論Ⅶ30時間のうち1時間を筆記試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	臨床看護総論	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①佐々木佳代（看護師） ②佐藤留美（がん化学療法看護認定看護師）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>あらゆる健康上の問題をもつ対象とその家族を理解し、状態に応じた看護ができる能力を身に付ける。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①27時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康上のニーズをもつ対象者と家族への看護     ライフサイクル・家族の機能からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ     人々の暮らしからとらえた健康上のニーズとケアサービスの拠点</li> <li>・健康状態の経過に基づく看護</li> <li>・主要な症状を示す対象者への看護</li> <li>・治療・処置を受ける対象者への看護</li> </ul> <p>②2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学療法を受ける患者の看護</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 臨床看護総論30時間のうち1時間を筆記試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>①90点 ②10点 合計100点</p>				

# 講義概要

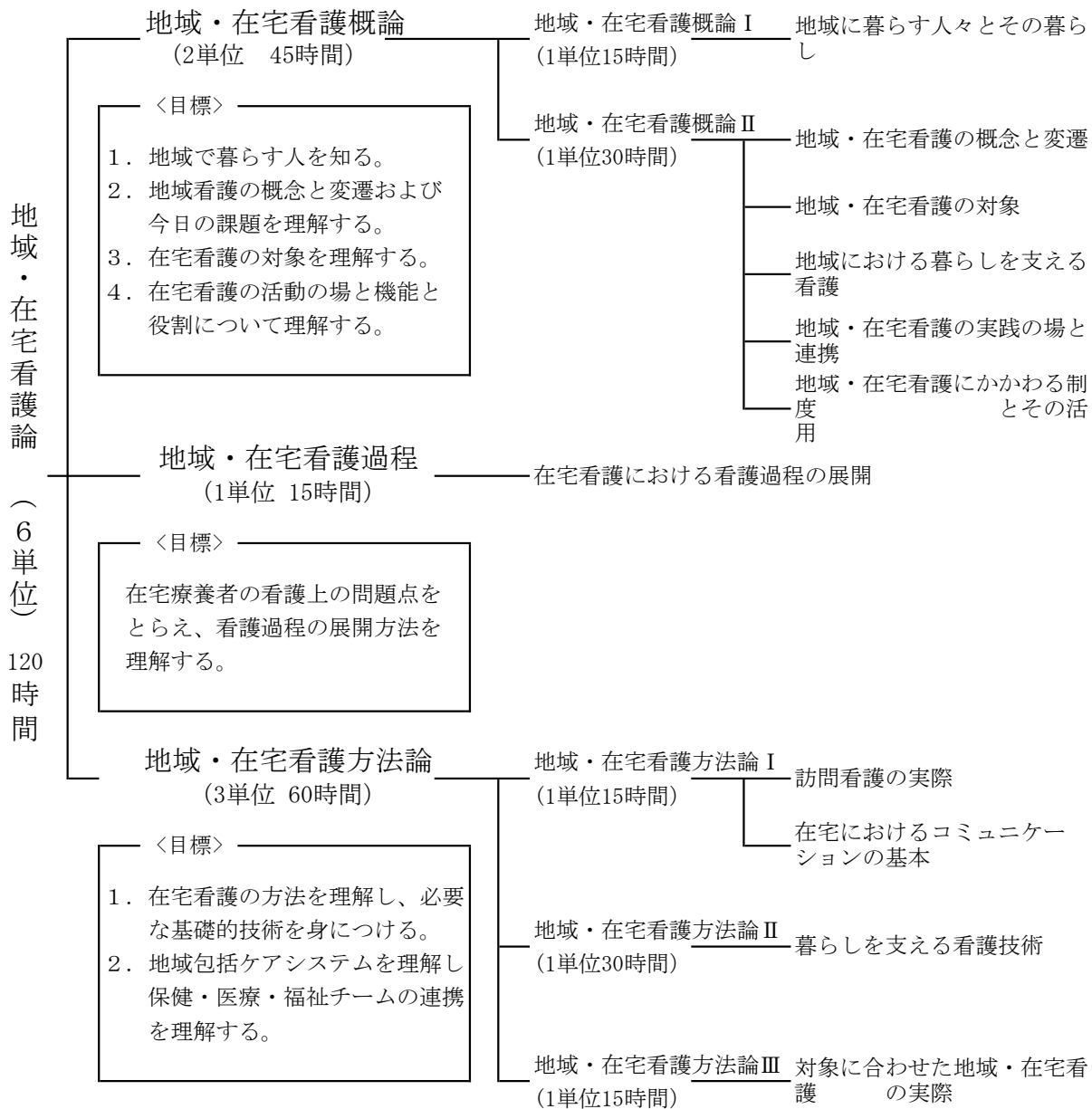
科目名	看護研究方法論 I	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	吉谷 理絵（看護師実務経験20年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究を通し科学的思考や研究態度を養い、看護実践の中に存在する疑問あるいは問題を系統的に探究する能力を身につける。</li> <li>2. 看護現象を探究し、看護の質を向上させるための看護研究方法論の基礎を学習する。</li> <li>3. 研究課題に関して、文献検索とクリティークのスキルを身につける。</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護研究の概念（臨床的意義）</li> <li>・ 研究過程の概観・研究のはじめ方</li> <li>・ 研究疑問（リサーチクエスチョン）と研究のはじめ方</li> <li>・ 研究の理論的枠組みと仮説</li> <li>・ 研究の種類とデータ分析方法</li> <li>・ 文献検索、クリティーク、研究倫理</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>黒田 裕子著 黒田裕子の看護研究 Step by Step 第4版 医学書院</p> <p>南 裕子著 看護における研究 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 看護研究方法論 I 15時間のうち1時間を筆記試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>筆記試験 100点</p>				

# 講義概要

科目名	看護研究方法論Ⅱ	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	山口 梨沙（看護師実務経験9年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の意義を理解し、看護研究のプロセスに沿ってグループの中での役割を意識し行動化する。</li> <li>2. 研究に関し、他者と意見交換ができ、実験・調査を計画的に実践する。</li> <li>3. 研究結果を論理的に考察し、原著論文と集録をグループで協力して作成する。</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 量的研究オリエンテーション</li> <li>・ 研究計画書作成方法と実際（量的研究）</li> <li>・ 論文の構成</li> <li>・ 発表の方法</li> <li>・ 文献検索個人作業とテーマの絞り込みグループワーク</li> <li>・ データ収集・データ分析グループワーク</li> <li>・ 原著論文・集録作成グループワーク</li> <li>・ 発表準備グループワーク</li> <li>・ 量的研究発表会・講評</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>黒田 裕子著 黒田裕子の看護研究 Step by Step 第4版 医学書院</p> <p>南 裕子著 看護における研究 医学書院</p> <p>釧路市立高等看護学院 原著規定</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>グループワークへの取り組み、態度などを評価表に基づき評価する</p> <p>個人で作成した文献カード・リストと、研究を通しての学びのレポートを評価表に基づき評価する</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p>グループワークへの参加状況 評価表50点</p> <p>文献カード・リスト及びレポート 評価表50点</p>				

# 地域・在宅看護論

目的：地域に暮らす人々と、多様な場で療養する対象者と家族が、安心してその人らしい生活を継続していくために実践されている地域包括ケアシステムを通して、看護の役割と多職種の連携のあり方を理解し、在宅療養者の看護の基礎を身に付ける。



# 講義概要

科目名	地域・在宅看護概論 I	1 学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	齊藤 綾（看護実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>身近に存在するさまざまな人への関心をもち、暮らしの基盤としての地域を理解する。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>1. 地域・在宅看護論で学ぶこと</p> <p>①地域・在宅看護論を学ぶ背景～人口構造の変化、医療体制の変化</p> <p>②地域・在宅看護論を学ぶうえで大切な概念 地域医療構想、地域包括ケアシステム、自助・互助・共助・公助、予防活動、多職種協働、臨床判断</p> <p>2. 地域・在宅看護の対象の理解</p> <p>①看護の対象のこれまでとこれから</p> <p>②地域で暮らすということ</p> <p>③対象：病院ではなく居宅にいる人</p> <p>④対象：あらゆる発達段階にある人</p> <p>⑤対象：あらゆる健康状態にある人</p> <p>⑥対象：家族</p> <p>3. 地域・在宅看護実習 I にむけて、実習対象についてグループワーク</p> <p>①身近にいる高齢者の暮らしについて</p> <p>②老人デイサービスセンターに通う理由と、その利点について考える。</p> <p>③老人福祉センターに通う理由と、その利点について考える。</p> <p>4. 地域・在宅看護実習 I での学び想起しながら、地域・在宅看護の対象理解と地域包括ケアシステムについて復習する</p>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>基礎からわかる地域・在宅看護論      照林社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 15時間のうち1時間を試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	地域・在宅看護概論Ⅱ	2 学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	齊藤 綾（看護実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;                  地域・在宅看護論の対象と看護の基盤となる概念を理解する。</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人々の暮らしと健康・看護</li>   <li>2. 暮らしの基盤としての地域の理解</li>   <li>3. 地域における暮らしを支える看護</li> <li>4. 地域・在宅看護実践の場と連携                      在宅看護と療養の場の移行</li> <li>5. 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用                      在宅看護にかかわる法令・制度                      介護保険制度                      訪問看護の制度とサービスの提供                      ケアマネジメントと社会資源の活用                      地域における多職種連携</li> </ol>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論Ⅰ 地域・在宅看護の基盤 医学書院 新体系 看護学全書 地域・在宅看護論 メヂカルフレンド社				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> 筆記試験 30時間のうち1時間を試験にあてる				
<p>&lt;配点&gt;</p> 100点				

## 講 義 概 要

科目名	地域・在宅看護過程	2 学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	高川 千春（看護実務経験18年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 在宅療養者の看護上の問題をとらえ、看護過程の展開方法を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・在宅看護過程展開のポイント</li> <li>2. 地域・在宅看護過程の展開方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>地域・在宅看護過程の特徴</li> <li>情報収集とアセスメント</li> <li>目標の設定、計画、実施、評価</li> </ul> </li> <li>3. 地域・在宅看護過程展開(事例に沿ってグループワーク)</li> </ol>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論Ⅱ 医学書院            新体系 看護学全書 在宅看護論 メヂカルフレンド社            根拠が分かる在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 15時間のうち1時間を試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				



## 講 義 概 要

科目名	地域・在宅看護方法論Ⅰ	2 学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	①高川 千春（看護実務経験18年）②訪問看護ステーション看護師			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 訪問看護の実際について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①担当：9時間 高川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基本</li> <li>・在宅におけるコミュニケーションの特徴</li> <li>・ラポールを形成するための看護者の態度</li> <li>・訪問看護におけるコミュニケーションの実際 初回訪問時のコミュニケーションについてグループワーク</li> </ul> <p>②担当：5時間 訪問看護ステーション看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護の実際</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論Ⅱ 医学書院          新体系 看護学全書 在宅看護論 メヂカルフレンド社          根拠がわかる在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 15時間のうち1時間を試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

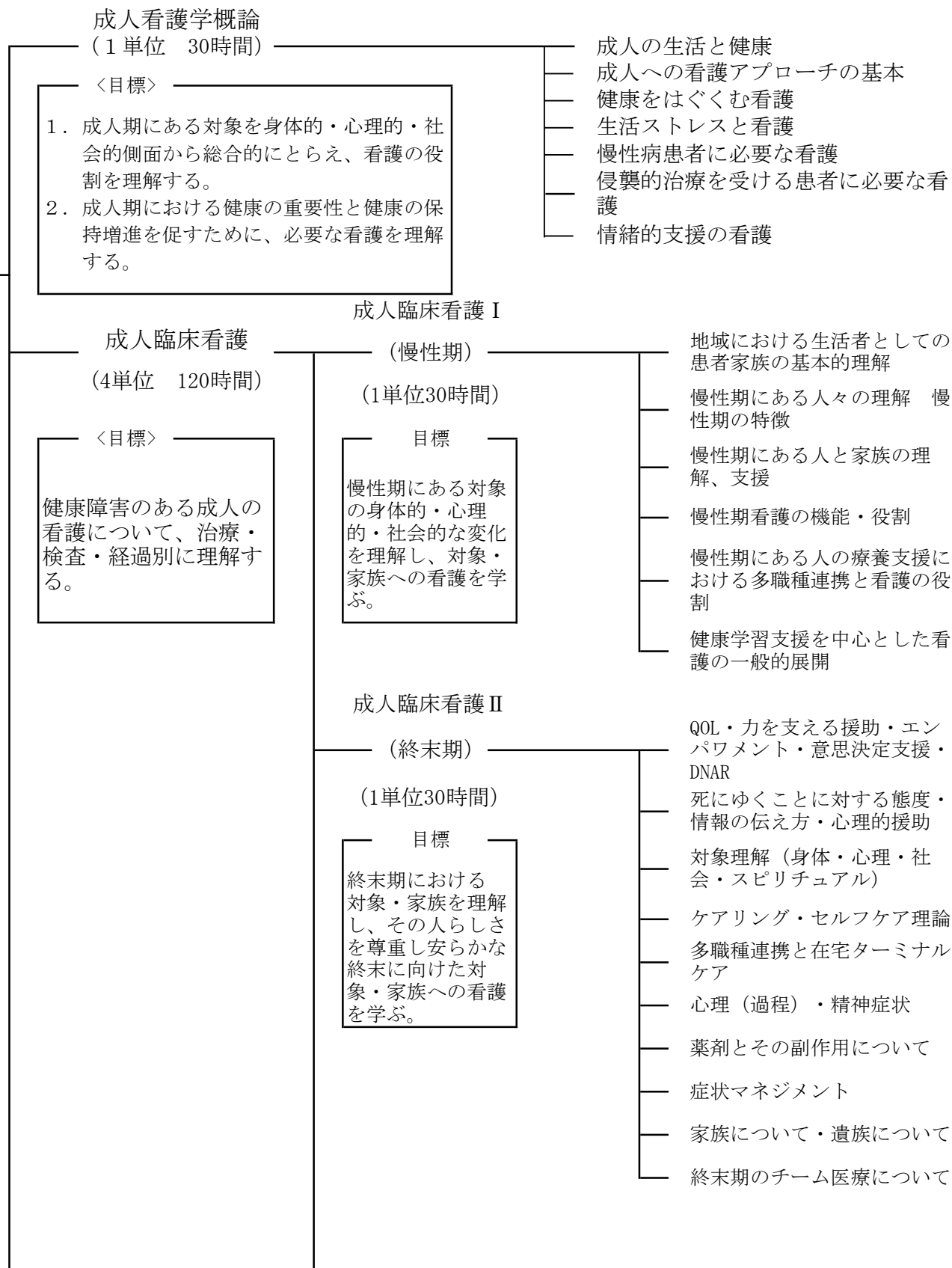
# 講 義 概 要

科目名	地域・在宅看護方法論Ⅱ	2 学年	時間 単位	30時間 1単位						
担当講師	藤原 敦子（看護実務経験10年）									
<p>&lt;授業のねらい&gt; 在宅看護の方法を理解し、必要な基礎的技術を身につける</p>										
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護技術の特徴</li> <li>・在宅における日常生活の援助(食事・排泄・清潔・睡眠・移動)</li> <li>・在宅における処置を伴う援助                  経腸栄養法・在宅中心静脈栄養法・尿道留置カテーテル・自己導尿・在宅酸素療法・                  気管カニューレ・吸引・自己注射法・感染予防</li> <li>・薬物療法・服薬管理・褥瘡</li> <li>・終末期ケア・在宅緩和ケア</li> </ul>										
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">系統看護学講座 専門分野 在宅看護論Ⅱ</td> <td>医学書院</td> </tr> <tr> <td>新体系 看護学全書 在宅看護論</td> <td>メヂカルフレンド社</td> </tr> <tr> <td>根拠がわかる在宅看護技術</td> <td>メヂカルフレンド社</td> </tr> </table>					系統看護学講座 専門分野 在宅看護論Ⅱ	医学書院	新体系 看護学全書 在宅看護論	メヂカルフレンド社	根拠がわかる在宅看護技術	メヂカルフレンド社
系統看護学講座 専門分野 在宅看護論Ⅱ	医学書院									
新体系 看護学全書 在宅看護論	メヂカルフレンド社									
根拠がわかる在宅看護技術	メヂカルフレンド社									
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 30時間のうち1時間を試験にあてる</p>										
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>										

# 成人看護学

目的：成人期にある対象の特徴を理解し、健康の保持増進の重要性と経過別看護について学ぶ。

成人看護学  
(6単位)  
165時間



成人臨床看護Ⅲ  
(周術期)  
(1単位30時間)

目標

周術期にある対象の特徴を理解し、周術期看護の専門性と役割について学ぶ。

- 手術療法と周術期看護の基本
- 周術期にある患者家族の特徴
- 術中の患者家族の看護
- 術後の患者家族の看護
- 周術期にある患者家族への援助

成人臨床看護Ⅳ  
(急性期)  
(1単位30時間)

目標

急性期にある対象の身体的・身体的・社会的な変化を理解し、対象・家族への看護を学ぶ。

- クリティカルケア看護の基本
- クリティカルケア看護師に必要な能力
- クリティカルケア看護の実際
- クリティカルケア看護における思考プロセス
- 臨床判断プロセスの可視化
- クリティカルな状態にある患者と家族の看護
- クリティカルな状態にある患者の全身管理と日常性への支援

成人看護過程

(1単位 15時間)

<目標>

看護上の問題を有する成人に対し、個別性を考慮した看護過程の展開方法を理解する。

- 成人期の特徴を捉えた看護過程の実際
- アセスメントと事実上の問題点の明確化
- 看護過程の実際 事例を用いて看護計画を立案する

# 講義概要

科目名	成人看護学概論	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	大西博子(看護師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>1. 成人期にある対象を身体的・心理的・社会的側面から総合的にとらえ、看護の役割を理解する</p> <p>2. 成人期における健康の重要性と健康の保持増進を促すために、必要な看護を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>成人の生活と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象の理解　・対象の生活　・大人の生活からとらえる健康</li> <li>・生活と健康を守りはぐくむシステム</li> </ul> <p>成人への看護アプローチの基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の学習の特徴　・健康問題を持つ大人と看護師の人間関係</li> <li>・看護における集団へのアプローチ　・大人の危機</li> </ul> <p>健康をはぐくむ看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康生活をはぐくむ看護の対象と視点</li> <li>・家庭、地域社会、職場における成人の健康活動をはぐくむ活動</li> </ul> <p>生活ストレスと看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康バランスの構成要素　・健康バランスに影響を及ぼす要因</li> <li>・生活行動がもたらす健康問題とその予防</li> </ul> <p>慢性病患者への看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性病の特徴　・病みの軌跡、セルフケア　・エンパワメント　・自己効力感</li> </ul> <p>侵襲的治療を受ける患者への看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスコーピング　・コーピング強化のための援助</li> </ul> <p>情緒的支援の看護技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスとは　・ストレスと危機の関係　・ストレスや危機を生じる状況</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院</p> <p>国民衛生の動向 厚生労働統計協会</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 成人看護学概論30時間の授業のうち、1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	成人臨床看護 I（慢性期）	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①小川怜子 呼吸器内科病棟看護師 ③野澤佳代 消化器内科病棟看護師 ⑤小宮谷美穂 混合病棟看護師 ⑦山口梨沙（看護師実務経験9年）	②野崎直孝 心臓血管内科病棟看護師 ④鹿野直樹 脳神経外科病棟看護師 ⑥工藤洋介 混合病棟看護師		
<授業のねらい> 慢性期にある対象の身体的・心理的・社会的な変化を理解し、対象・家族への看護を学ぶ				
<講義内容> 5時間 ①担当：小川怜子 呼吸器内科病棟看護師 ・慢性期にある人々の理解 慢性期の特徴 ・慢性期にある人と家族の理解、支援 ・慢性期看護の機能・役割 ・慢性期にある人の療養支援における多職種連携と看護の役割 ・健康学習支援を中心とした看護の一般的展開 ・急性増悪の予防と症状緩和を中心とした看護の一般的展開 ・急性増悪の予防と精神的支援を中心とした看護の一般的展開 ・慢性期にある人・家族への看護～・慢性閉塞性肺疾患 ・気管支喘息 4時間 ②担当：野崎直孝 心臓血管内科病棟看護師 ・慢性期にある人・家族への看護～慢性心不全 ・慢性期にある人・家族への看護～慢性腎臓病 4時間 ③担当：野澤佳代 消化器内科病棟看護師 ・慢性期にある人・家族への看護～・白血球・潰瘍性大腸炎・クローン病 4時間 ④担当：鹿野直樹 脳神経外科病棟看護師 ・慢性期にある人・家族への看護～・脳梗塞後遺症 ・パーキンソン病 4時間 ⑤担当：小宮谷美穂 混合病棟看護師 ・慢性期にある人・家族への看護～・慢性腎臓病 ・全身性エリテマトーデス 4時間 ⑥担当：工藤洋介 混合病棟看護師 ・慢性期にある人・家族への看護～・全身性エリテマトーデス ・関節リウマチ ・筋委縮性側索硬化症（ALS） 4時間 ⑦担当：山口梨沙 ・生活指導（易感染状態）の演習				
<教科書・参考書> 経過別成人看護学③ 慢性期看護 メヂカルフレンド社				
<評価方法> 筆記試験 成人臨床看護 I の30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳（①担当20点）（②担当16点）（③担当16点）（④担当16点）（⑤担当16点） （⑥担当16点）				

## 講 義 概 要

科目名	成人臨床看護Ⅱ（終末期）	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①内海明美（がん看護専門看護師）②佐川 慶子（緩和ケア認定看護師） ③高川 千春（看護師実務経験18年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 終末期における対象・家族を理解し、その人らしさを尊重し安らかな終末に向けた対象・家族への看護を学ぶ</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①担当：内海明美（がん看護専門看護師） 13時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終末期の理解</li> <li>・ 終末期にある患者・家族の理解</li> <li>・ 終末期医療と看護の理解</li> <li>・ 終末期医療の抱える課題</li> <li>・ 終末期における患者・家族とのコミュニケーション             <ul style="list-style-type: none"> <li>患者・家族とのコミュニケーション</li> <li>患者の希望を支えるコミュニケーション</li> <li>アドバンス・ケア・プランニング</li> </ul> </li> </ul> <p>②担当：佐川 慶子（緩和ケア認定看護師） 12時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終末期における日常生活の支援</li> <li>・ 全人的（包括的）苦痛の緩和</li> <li>・ 終末期における退院支援・地域連携</li> <li>・ 臨死期の看護</li> <li>・ 在宅における看取り</li> </ul> <p>③担当：高川 4時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 痛みの対応</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 経過別成人看護学④ 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア      メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 成人臨床看護Ⅱの30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点      内訳（①担当50点）（②担当50点）</p>				

# 講 義 概 要

科目名	成人臨床看護Ⅲ（周術期）	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①小林珠己 手術看護認定看護師      ②高橋美央 心臓血管外科病棟看護師 ③三船小里絵 脳神経外科病棟看護師      ④岸本亜矢子 手術室看護師 ⑤阿部初月（助産師実務経験24年）			
<授業のねらい> 周術期にある対象の特徴を理解し、周術期看護の専門性と役割について学ぶ				
<講義内容> 8時間 ①担当：小林珠己 手術看護認定看護師 手術療法と周術期看護の基本 周術期の基盤となる理論と看護展開 術前の患者・家族の看護 術中の患者・家族の看護 4時間 ②担当：高橋美央 心臓血管外科病棟看護師 術後の患者・家族の看護 術後回復過程における患者・家族の看護 4時間 ③担当：三船小里絵 脳神経外科病棟看護師 脳・神経系の手術を受ける患者・家族の看護 頸部の手術を受ける患者・家族の看護 呼吸器系の手術を受ける患者・家族の看護 9時間 ④担当：岸本亜矢子 手術室看護師 周術期にある患者・家族への看護 循環器系の手術を受ける患者・家族の看護 消化器系の手術を受ける患者・家族の看護 腎・泌尿器系の手術を受ける患者・家族の看護 性・生殖器系の手術を受ける患者・家族の看護 運動器系の手術を受ける患者・家族の看護 内視鏡下手術を受ける患者・家族の看護 基礎疾患のある患者の周術期看護 ・手術室見学1時間 4時間 ⑤担当：阿部初月 周術期看護技術（観察・早期離床など）				
<教科書・参考書> 経過別成人看護学② 周術期看護      メヂカルフレンド社				
<評価方法> 筆記試験 成人臨床看護Ⅲの30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳（①担当35点）（②担当15点）（③担当15点）（④担当35点）				



# 講 義 概 要

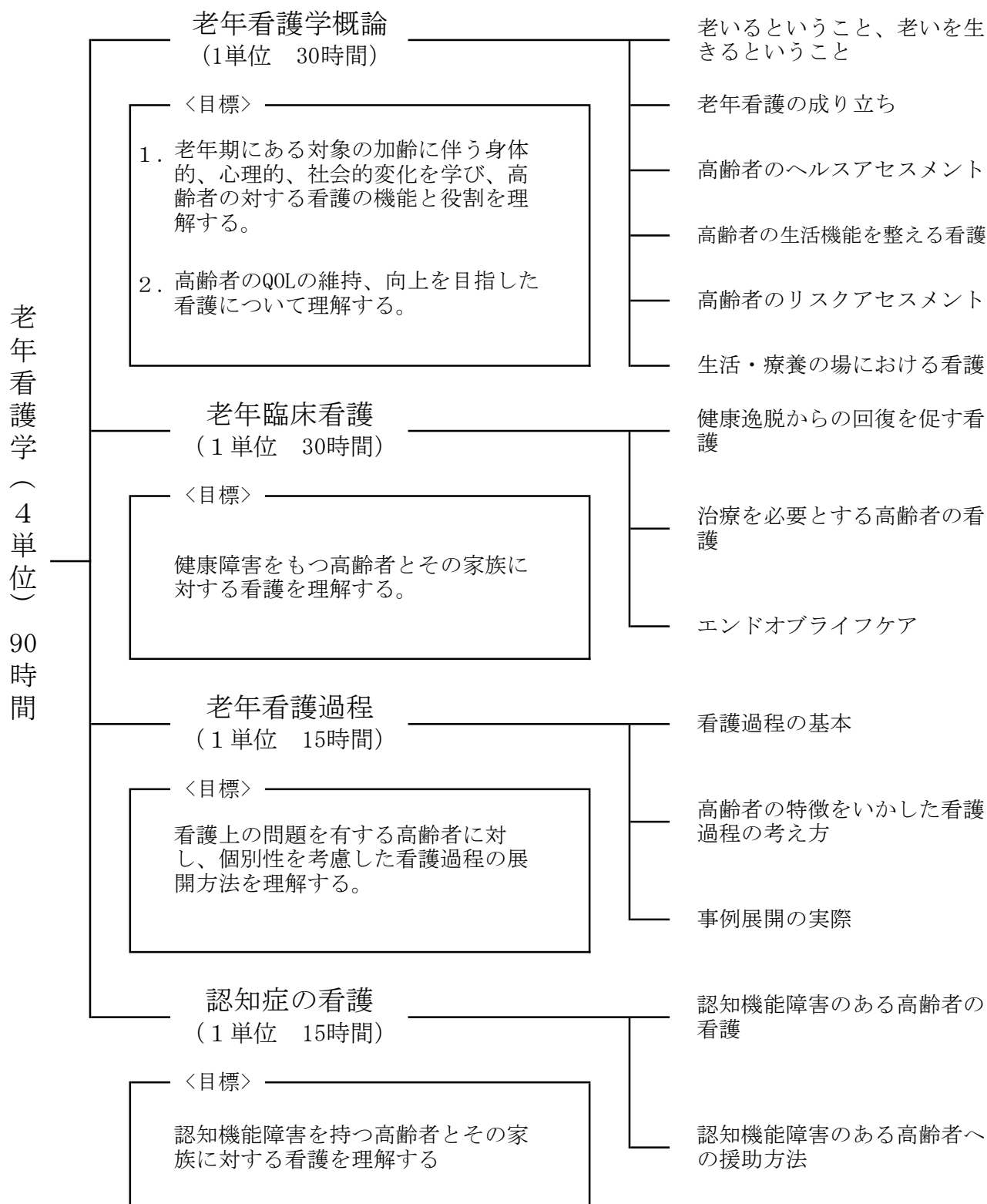
科目名	成人臨床看護 IV（急性期）	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①岩渕由香 呼吸器内科病棟看護師      ②鈴木皓大 呼吸器内科看護師 ③皆川由貴子 脳神経外科病棟看護師    ④川村里奈 整形外科病棟看護師 ⑤山下愛 ICU看護師                      ⑥國塚由莉 消化器内科病棟看護師 ⑦阿部初月（助産師実務経験24年）			
<授業のねらい> 急性期にある対象の身体的・心理的・社会的な変化を理解し、対象・家族への看護を学ぶ				
<講義内容> 5時間 ①担当：岩渕由香 呼吸器内科病棟看護師 ・クリティカルケア看護の基本 ・クリティカルケア看護師に必要な能力 ・クリティカルケア看護の実際～・呼吸困難      ・胸痛 ・クリティカルな状態にある患者と家族の看護    ～ARDS 4時間 ②担当：鈴木皓大 呼吸器内科看護師 クリティカル看護の基盤なる理論と看護展開 ・臨床判断プロセスの可視化 ～・浮腫      ・ショック 4時間 ③担当：皆川由貴子 脳神経外科病棟看護師 ・臨床判断プロセスの可視化 ～意識障害 ・クリティカルな状態にある患者と家族の看護 ～・クモ膜下出血      ・外傷 4時間 ④担当：川村里奈 整形外科病棟看護師 ・クリティカルケア看護における思考プロセス ・臨床判断プロセスの可視化 ～せん妄 4時間 ⑤担当：山下愛 ICU看護師 ・クリティカルな状態にある患者の全身管理と日常性への支援 ・クリティカルな状態にある患者と家族の看護 ～ARDS・大動脈解離 4時間 ⑥担当：國塚由莉 消化器内科看護師 ・臨床判断プロセスの可視化 ～腹痛 ・クリティカルな状態にある患者と家族の看護 ～・熱傷      ・播種性血管内凝固症候群      ・多臓器機能障害 4時間 ⑦担当4時間：阿部初月 ・急性期看護技術～血圧低下時の対応について（演習）				
<教科書・参考書> 経過別成人看護学① 急性期看護：クリティカルケア      メヂカルフレンド社				
<評価方法> 筆記試験 成人臨床看護IVの30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点 内訳（①担当20点）（②担当16点）（③担当16点）（④担当16点）（⑤担当16点） （⑥担当16点）				

# 講 義 概 要

科目名	成人看護過程	2学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	藤原 敦子（看護師実務経験10年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 看護上の問題を有する成人に対し、個別性を考慮した看護過程の展開方法を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人期の特徴をとらえた看護過程の実際</li> <li>・アセスメントと看護上の問題点の明確化</li> <li>・看護過程の実際 事例を用いて看護計画を立案する</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論      医学書院          系統看護学講座 基礎看護学 基礎看護技術 I      医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験      成人看護過程15時間の授業のうち、1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 老年看護学

目的：老年期にある対象を理解し、加齢に伴う変化に応じた看護、健康障害をもつ高齢者とその家族に対する看護について理解する。



# 講義概要

科目名	老年看護学概論	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	沼田 靖子(がん看護専門看護師)			
<p>1. 老年期にある対象の加齢に伴う身体的、心理的、社会的変化を学び、高齢者に対する看護の機能と役割を理解する</p> <p>2. 高齢者のQOLの維持、向上を目指した看護について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>29時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老いるということ、老いを生きるということ</li> <li>・老年看護のなりたち</li> <li>・高齢者のヘルスアセスメント</li> <li>・高齢者の生活機能を整える看護</li> <li>・高齢者のリスクアセスメント</li> <li>・生活・療養の場における看護</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 老年看護学概論30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講 義 概 要

科目名	老年臨床看護	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	田口 彩華(看護師実務経験12年)			
<授業のねらい> 健康障害をもつ高齢者とその家族に対する看護を理解する				
<講義内容> 29時間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・症候のアセスメントと看護</li> <li>・身体疾患のある高齢者の看護</li> <li>・健康逸脱からの回復を促す看護</li> <li>・治療を必要とする高齢者の看護</li> <li>・エンドオブライフケア</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 病態・疾患論 医学書院 カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術 医歯薬出版 高齢社会白書 内閣府 ホームページ				
<評価方法> 筆記試験 老年臨床看護の30時間のうち1時間を試験に充てる				
<配点> 100点				

## 講義概要

科目名	老年看護過程	1学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	佐々木 秀樹（看護師実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 看護上の問題を有する高齢者に対し、個別性を考慮した看護過程の展開方法を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt; 14時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護過程の基本</li> <li>・高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方 生活行動モデルによる看護過程</li> <li>・事例展開の実際</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 老年看護過程 15時間のうち1時間を試験に充てる 課題提出 事例を用いての看護計画立案</p> <p>&lt;配点&gt; 筆記試験と課題提出 100点 内訳：筆記試験70点 看護過程30点</p>				

## 講義概要

科目名	認知症の看護	2学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	荒堀 良太 (認知症認定看護師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知機能障害を持つ高齢者とその家族に対する看護を理解する</li> </ul>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>14時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症とは</li> <li>・ 認知機能障害のある高齢者      うつ    せん妄      認知症</li> <li>・ 認知症の病態・診断・治療・予防</li> <li>・ 認知機能および生活機能の評価</li> <li>・ 認知症患者の家族を含めた看護</li> <li>・ 認知症高齢者とのコミュニケーション</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学      医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 病態・疾患論      医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 認知症の看護 15時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>担当①100点</p>				

# 小児看護学

目的 小児各期の特徴を理解し、小児の成長発達に応じた看護と健康障害をもつ小児とその家族に対する看護を理解する。

小児看護学  
(4単位)  
105時間

## 小児看護学概論

(1単位 30時間)

<目標>

1. 小児の概念と小児看護の役割を理解する。
2. 小児期における保健の重要性を理解し、小児の健全な成長発達を促すために必要な看護を理解する。

- 小児看護の特徴
- 小児保健の意義
- 小児の成長発達
- 小児の生活と養護
- 小児の栄養
- 小児をめぐる法律と政策
- 小児と家族を取り巻く社会
- 小児看護における倫理と課題

## 小児臨床看護 I

(1単位 30時間)

<目標>

小児における疾患の病態生理や症状、治療、検査について理解する。

- 出生後の成長・発達過程
- 染色体異常・胎内環境による発症する先天異常
- 新生児の疾患の病態生理と主要症状、検査、治療
- 小児の疾患の病態生理と主要症状、検査、治療  
(腎泌尿器、生殖器、神経疾患、血液・造血器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、運動器疾患、感覚器疾患、精神疾患)

## 小児臨床看護 II

(1単位 30時間)

<目標>

健康障害が小児や家族に及ぼす影響と必要な看護を理解する。

- 病児と家族の理解
- 障害のある小児と家族
- 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護
- 小児における疾病の経過と看護
- 小児のアセスメント
- 症状を示す小児の看護
- 先天的な問題をもつ小児と家族への看護
- 検査・処置を受ける小児の看護
- 小児の虐待と看護
- 染色体異常・先天異常と看護
- 新生児の看護
- 事故・外傷と看護
- 疾患をもった小児の看護

## 小児看護過程

(1単位 15時間)

<目標>

看護上の問題を有する小児に対し、個別性を考慮した看護過程の展開を理解する。

小児看護における看護過程



## 講 義 概 要

科目名	小児看護学概論	1学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	吉谷 理絵（看護師実務経験20年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>1. 小児の概念と小児看護の役割を理解する</p> <p>2. 小児期における保健の重要性を理解し、小児の健全な成長発達を促すために必要な看護を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児看護の特徴（小児看護の変遷・理念、小児看護の対象、小児看護の機能と役割）</li> <li>・小児保健の意義</li> <li>・小児の成長発達（成長発達とは、各発達段階の分類・特徴）</li> <li>・小児の生活と養護</li> <li>・小児の栄養</li> <li>・小児をめぐる法律と政策</li> <li>・小児と家族を取り巻く社会</li> <li>・小児看護における倫理と課題</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 小児看護学概論30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	小児臨床看護 I	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	橋野 健 (小児科医師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 小児における疾患の病態生理や症状、治療、検査について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出生後の成長・発達過程</li> <li>・ 染色体異常、先天性代謝異常</li> <li>・ 新生児の疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 内分泌疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ アレルギー性疾患、免疫疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 消化器疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 小児の感染症、予防接種について</li> <li>・ 腎・泌尿器および生殖器疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 神経疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 血液・造血器疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 呼吸器疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 循環器疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 運動器疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 皮膚疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 眼疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 耳鼻咽喉疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> <li>・ 精神疾患の病態生理と主要症状、検査、治療</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 小児臨床看護 I 30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講義概要

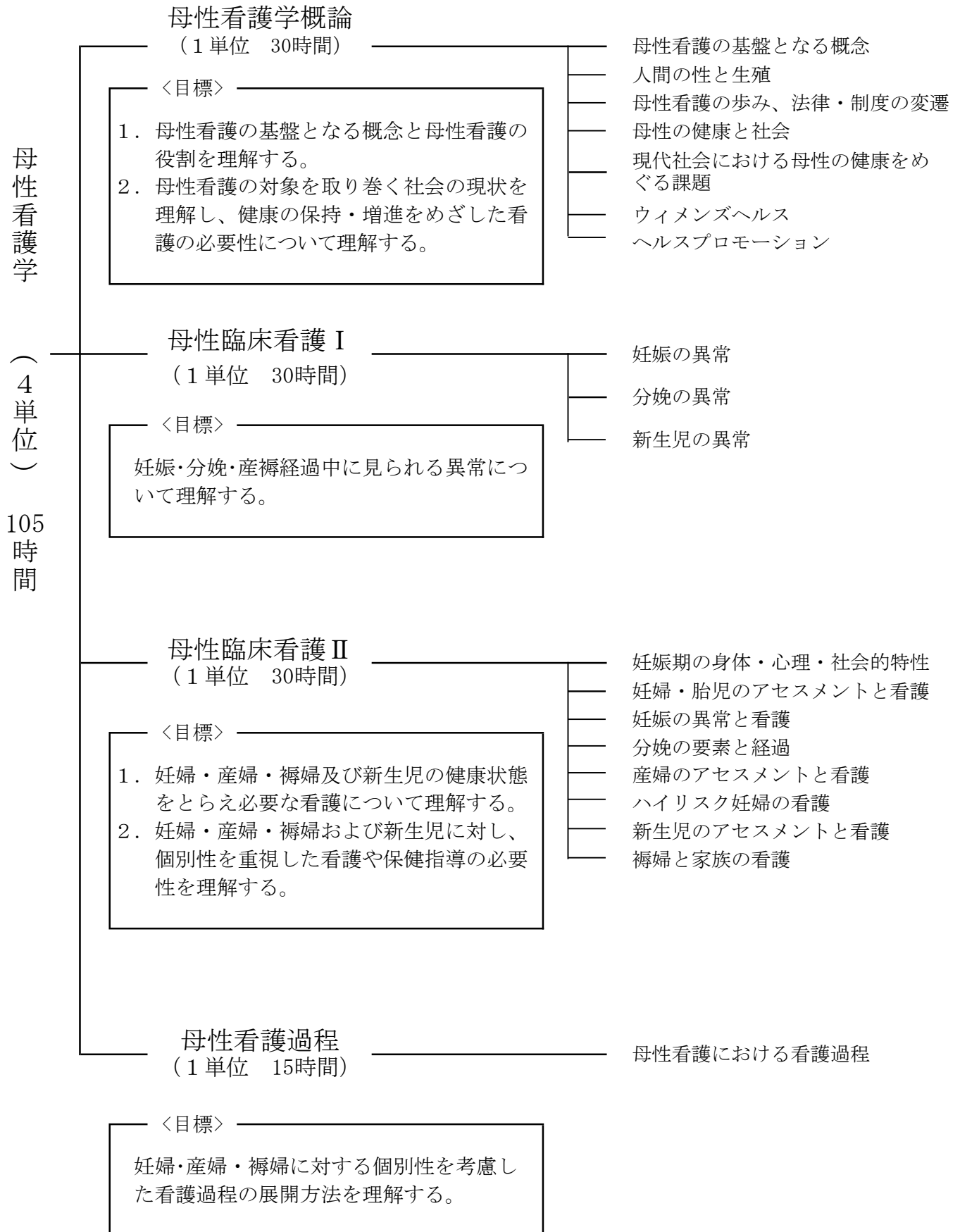
科目名	小児臨床看護Ⅱ	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①武田 麻友子（小児科病棟看護師） ②樋口 まりこ（小児科病棟看護師）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 健康障害が小児や家族に及ぼす影響と必要な看護を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt; 14時間 ①担当：武田 麻友子（看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病児と家族の理解</li> <li>・障害のある小児と家族</li> <li>・子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護</li> <li>・小児における疾病の経過と看護</li> <li>・小児のアセスメント</li> <li>・症状を示す小児の看護</li> <li>・先天的な問題をもつ小児と家族への看護</li> <li>・検査・処置を受ける小児の看護</li> <li>・小児の虐待と看護</li> </ul> <p>15時間 ②担当：樋口 まりこ（看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染色体異常・体内環境により発症する先天異常と看護</li> <li>・新生児の看護</li> <li>・疾患をもった小児の看護 （代謝性疾患、内分泌疾患、免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患、感染症、呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、血液・造血器疾患、悪性、新生物、腎・泌尿器疾患、生殖器疾患、神経疾患、運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患、耳鼻咽喉疾患、精神疾患）</li> <li>・事故・外傷と看護</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院          系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 小児臨床看護Ⅱ30時間のうち1時間を試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt; 100点 内訳：（①担当50点）（②担当50点）</p>				

# 講 義 概 要

科目名	小児看護過程	2学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	吉谷 理絵（看護師実務経験20年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 看護上の問題を有する小児に対し、個別性を考慮した看護過程の展開方法を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護過程のプロセス</li> <li>・小児の特徴</li> <li>・乳児期のアセスメント</li> <li>・幼児期のアセスメント</li> <li>・学童期のアセスメント</li> <li>・経過別のアセスメント</li> <li>・看護過程の実際</li> <li>・看護過程の実際（事例を用いたGW）</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院          系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 小児看護過程15時間のうち1時間を試験にあてる</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p>筆記試験 100点</p>				

# 母性看護学

目的： 母性看護を必要とする対象の特徴を理解し、妊婦・産婦・褥婦と新生児の看護について理解できる。



※新生児の異常については、小児看護学に含む

# 講義概要

科目名	母性看護学概論	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	阿部 初月（助産師実務経験24年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 母性看護の基盤となる概念と母性看護の役割を理解する</li> <li>2. 母性看護の対象を取り巻く社会の現状を理解し、健康の保持増進を目指した看護の必要性について理解する</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護とは</li> <li>・母性看護におけるプライマリヘルスケア</li> <li>・母性看護における倫理的問題</li> <li>・母性看護とチーム医療</li> <li>・母性看護に役立つ概念と理論</li> <li>・セクシャリティ</li> <li>・母性の健康と社会</li> <li>・母性看護に関する法律・制度の変遷</li> <li>・母性の健康と社会</li> <li>・母性看護の歩み</li> <li>・母性の健康をめぐる問題</li> <li>・安全・事故防止</li> <li>・ウィメンズヘルス</li> <li>・女性の生涯における変化</li> <li>・ヘルスプロモーション</li> <li>・途上国・新興国・先進国における女性の健康自立支援</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 母性看護学概論の30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	母性臨床看護 I	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	岡村 直樹（産婦人科医師）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>妊娠の異常</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスク妊娠</li> <li>・妊娠期の感染症</li> <li>・妊娠疾患</li> <li>・多胎妊娠</li> <li>・妊娠持続期間の異常</li> <li>・異所性妊娠</li> </ul> <p>分娩の異常</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産道・娩出力の異常</li> <li>・胎児の異常</li> <li>・胎児の付属物の異常</li> <li>・胎児機能不全</li> <li>・分娩時の損傷</li> <li>・分娩第3期及び分娩直後の異常</li> <li>・分娩時異常出血</li> <li>・産科処置と産科手術</li> </ul> <p>新生児の異常</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児仮死</li> <li>・新生児蘇生</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 母性臨床看護 I の30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

## 講義概要

科目名	母性臨床看護Ⅱ	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①立浪 美穂（助産師） ②小林 玲奈（助産師）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 妊婦・産婦・褥婦及び、新生児の健康状態をとらえ必要な看護について理解する</li> <li>2. 妊婦・産婦・褥婦及び新生児に対し、個別性を重視した看護や保健指導の必要性を理解する</li> </ol>				
<p>14時間</p> <p>①担当：立浪（助産師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを産み育てること</li> <li>・出生前からのリプロダクティブヘルスケア</li> <li>・妊娠期の身体的特性・心理・社会的特性</li> <li>・妊婦と胎児のアセスメント</li> <li>・妊娠期における看護</li> <li>・妊娠の異常と看護</li> <li>・分娩の要素と経過</li> <li>・産婦・胎児・家族のアセスメント</li> <li>・分娩期における看護</li> <li>・ハイリスク妊婦の看護</li> </ul> <p>15時間</p> <p>②担当：小林（助産師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新生児の生理</li> <li>・新生児のアセスメント</li> <li>・新生児の看護</li> <li>・産褥期の身体的変化と心理・社会的変化</li> <li>・褥婦のアセスメント</li> <li>・褥婦と家族の看護</li> <li>・母性看護の技術産褥期における看護</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 母性臨床看護Ⅱ 30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p> <p>内訳：（①担当50点） （②担当50点）</p>				

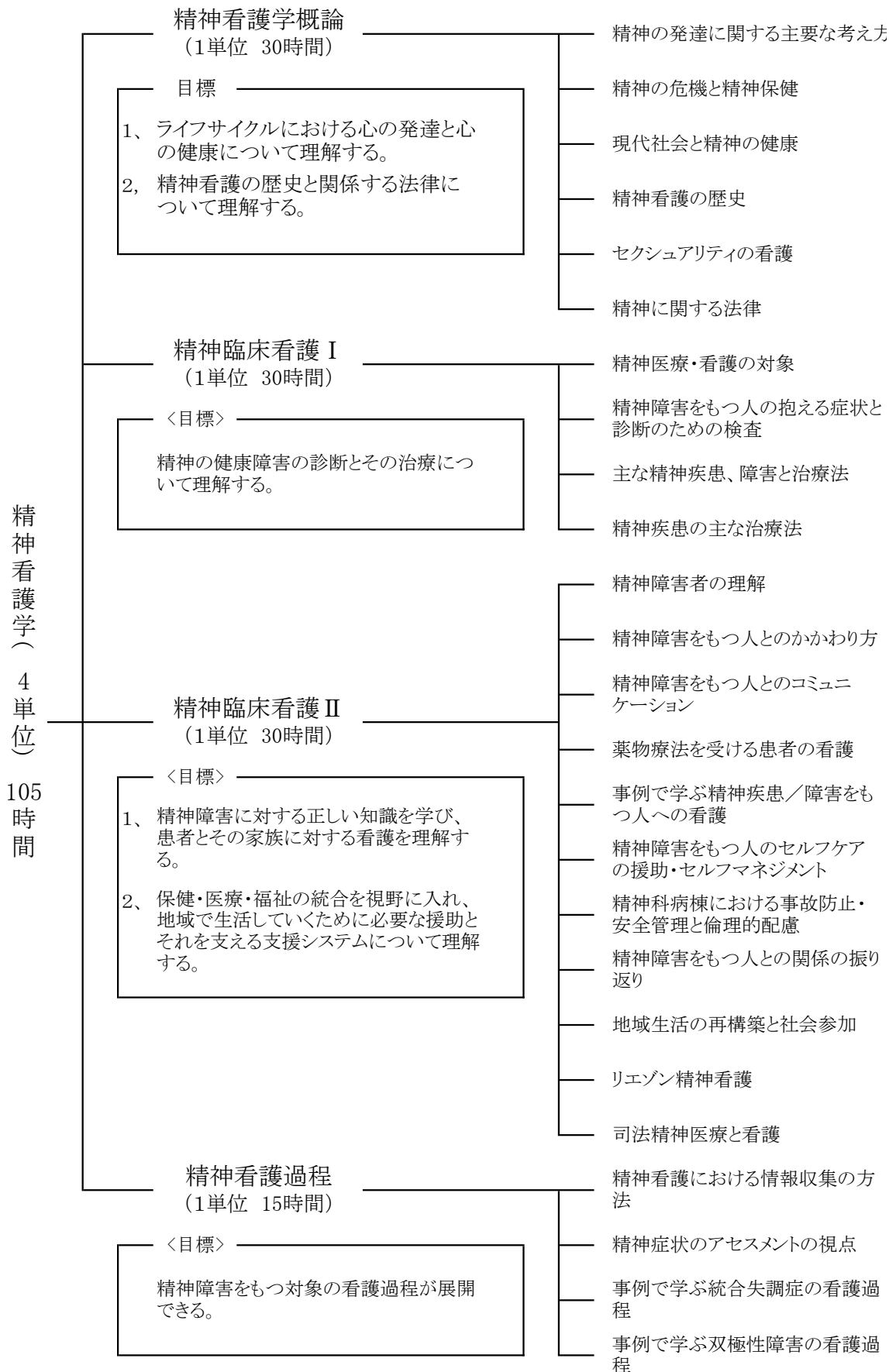


## 講義概要

科目名	母性看護過程	2学年	時間 単位	15時間 1単位								
担当講師	阿部 初月（助産師実務経験24年）											
<p>&lt;授業のねらい&gt; 妊婦・産婦・褥婦に対する個別性を考慮した看護過程の展開方法を理解する</p>												
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母性看護における対象把握</li> <li>・看護上の問題点の明確化</li> <li>・妊娠期のアセスメント</li> <li>・分娩期のアセスメント</li> <li>・産褥期のアセスメント</li> <li>・新生児のアセスメント</li> <li>・褥婦の看護過程の実際</li> </ul>												
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">系統看護学講座</td> <td style="width: 20%;">専門分野</td> <td style="width: 30%;">母性看護学概論</td> <td style="width: 30%;">医学書院</td> </tr> <tr> <td></td> <td>専門分野</td> <td>母性看護学各論</td> <td>医学書院</td> </tr> </table>					系統看護学講座	専門分野	母性看護学概論	医学書院		専門分野	母性看護学各論	医学書院
系統看護学講座	専門分野	母性看護学概論	医学書院									
	専門分野	母性看護学各論	医学書院									
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 母性看護過程の15時間のうち1時間を試験に充てる</p>												
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>												

# 精神看護学

目的:心の健康の維持・増進の重要性を理解し、精神に障害のある患者とその家族に対する看護について理解する。



# 講 義 概 要

科目名	精神看護学概論	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	佐々木 秀樹（看護師実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフサイクルにおける、心の発達と心の健康について理解する</li> <li>2. 人間の性と健康の関連を理解する</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神（心）の発達に関する主要な考え方 エリクソンの漸成的発達理論 ボウルビイの愛着理論 その他の乳幼児期の発達理論 マズローの欲求5段階説 ピアジェの認知発達理論</li> <li>・精神の危機と精神保健 危機とは何か？ ストレスコーピング 適応と不適応 精神の健康のためのセルフマネジメント</li> <li>・現代社会と精神（心）の健康 現代社会の特徴：社会構造の変化と社会病理 精神保健が関与する社会病理現象</li> <li>・精神保健医療福祉の歴史と現在の姿 精神医療の歴史 精神障害をもつ人を守る法・制度 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇</li> <li>・セクシュアリティの看護 性の概念 ライフサイクルから見た性の発達とその問題 看護における性の問題と援助</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>新体系 看護学全書 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社 担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 精神看護学概論30時間の授業のうち、1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	精神臨床看護 I	2学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①有賀 圭太 (精神神経科医師)    ②小野 鉄舟 (精神神経科医師) ③篠原 陸斗 (精神神経科医師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 精神の健康障害の診断とその治療について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>10時間 ①担当：有賀</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害をもつ人の抱える症状と診断のための検査</li> <li>・精神の働きと精神症状・状態像：精神障害をもつ人の抱える症状</li> <li>・精神科的診察</li> </ul> <p>10時間 ②担当：小野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な精神疾患／障害</li> <li>・精神疾患、障害の診断基準・分類</li> <li>・主な精神疾患</li> </ul> <p>9時間 ③担当：篠原</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患の主な治療法               <ul style="list-style-type: none"> <li>薬物療法</li> <li>電気痙攣療法</li> <li>リハビリテーション療法</li> <li>精神療法</li> </ul> </li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護    メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 精神臨床看護 I の30時間のうち、1時間を試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt; 100点 (①担当35点)            (②担当35点)            (③担当30点)</p>				

# Ⅱ.講義の概要

## 4.専門分野Ⅱ

- 1) 精神保健Ⅱ
- 2) 精神臨床看護Ⅰ
- 3) 精神臨床看護Ⅱ

# 講義概要

科目名	精神保健Ⅱ	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	佐々木 秀樹（看護師実務経験19年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>1. ライフサイクルにおける、心の発達と心の健康について理解する</p> <p>2. 人間の性と健康の関連を理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神（心）の発達に関する主要な考え方 エリクソンの漸成的発達理論 ボウルビィの愛着理論 その他の乳幼児期の発達理論 マズローの欲求5段階説 ピアジェの認知発達理論</li> <li>・精神の危機と精神保健 危機とは何か？ ストレスコーピング 適応と不適応 精神の健康のためのセルフマネジメント</li> <li>・現代社会と精神（心）の健康 現代社会の特徴：社会構造の変化と社会病理 精神保健が関与する社会病理現象</li> <li>・精神保健医療福祉の歴史と現在の姿 精神医療の歴史 精神障害をもつ人を守る法・制度 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇</li> <li>・セクシュアリティの看護 性の概念 ライフサイクルから見た性の発達とその問題 看護における性の問題と援助</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>新体系 看護学全書 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社 担当講師が作成したプリントを資料として使用する</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 精神保健Ⅱ30時間の授業のうち、1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	精神臨床看護 I	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①有賀 圭太 (精神神経科医師)    ②小野 鉄舟 (精神神経科医師) ③篠原 陸斗 (精神神経科医師)			
<授業のねらい> 精神の健康障害の診断とその治療について理解する				
<講義内容> 10時間 ①担当：有賀 ・精神障害をもつ人の抱える症状と診断のための検査 1) 精神の働きと精神症状・状態像：精神障害をもつ人の抱える症状 2) 精神科的診察  10時間 ②担当：小野 ・主な精神疾患／障害 1) 精神疾患、障害の診断基準・分類 2) 主な精神疾患  9時間 ③担当：篠原 ・精神疾患の主な治療法 1) 薬物療法 2) 電気痙攣療法 3) リハビリテーション療法 4) 精神療法				
<教科書・参考書> 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護    メヂカルフレンド社				
<評価方法> 筆記試験 精神臨床看護 I の30時間のうち、1時間を試験に充てる  <配点> 100点 (①担当分35点)                      (②担当分35点)                      (③担当分30点)				

# 講 義 概 要

科目名	精神臨床看護Ⅱ	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①高瀬 啓一(看護師実務経験8年) ②大島 友美(精神看護専門看護師)			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <p>1. 精神障害に対する正しい知識を学び、患者とその家族に対する看護を理解する</p> <p>2. 保健・医療・福祉の統合を視野に入れ、地域で生活していくために必要な援助とそれを支える支援システムについて理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>①高瀬 (15時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神(心)を病む」とはどのようなことか</li> <li>・精神障害と差別</li> <li>・精神障害をもつ人はどのようなことを経験し感じているか。</li> <li>・精神障害と共に生きる</li> <li>・精神障害をもつ人とのかかわり方</li> <li>・精神障害をもつ人との関係の振り返り(プロセスレコードの活用)</li> <li>・看護援助の基本構造</li> <li>・精神障害をもつ人のセルフケアの援助</li> <li>・精神障害をもつ人のセルフマネジメント(自己管理)</li> <li>・精神疾患/障害をもつ人への看護</li> <li>・精神疾患/障害をもつ子どもへの看護</li> <li>・身体疾患を合併している患者への看護</li> </ul> <p>②大島 (14時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害をもつ人とのコミュニケーション</li> <li>・精神科病棟における事故防止・安全管理と倫理的配慮</li> <li>・地域生活の再構築と社会参加</li> <li>・精神障害をもつ人の地域生活支援の実際</li> <li>・精神障害をもつ人をケアする家族への支援</li> <li>・リエゾン精神看護</li> <li>・司法精神医療と看護</li> <li>・災害時の精神看護</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社          焼山 和憲 ヘンダーソンにもとづく精神科看護過程 医歯薬出版株式会社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 精神臨床看護Ⅱ30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点          内訳：(①担当分 50点) (②担当分 50点)</p>				



## Ⅱ.講義の概要

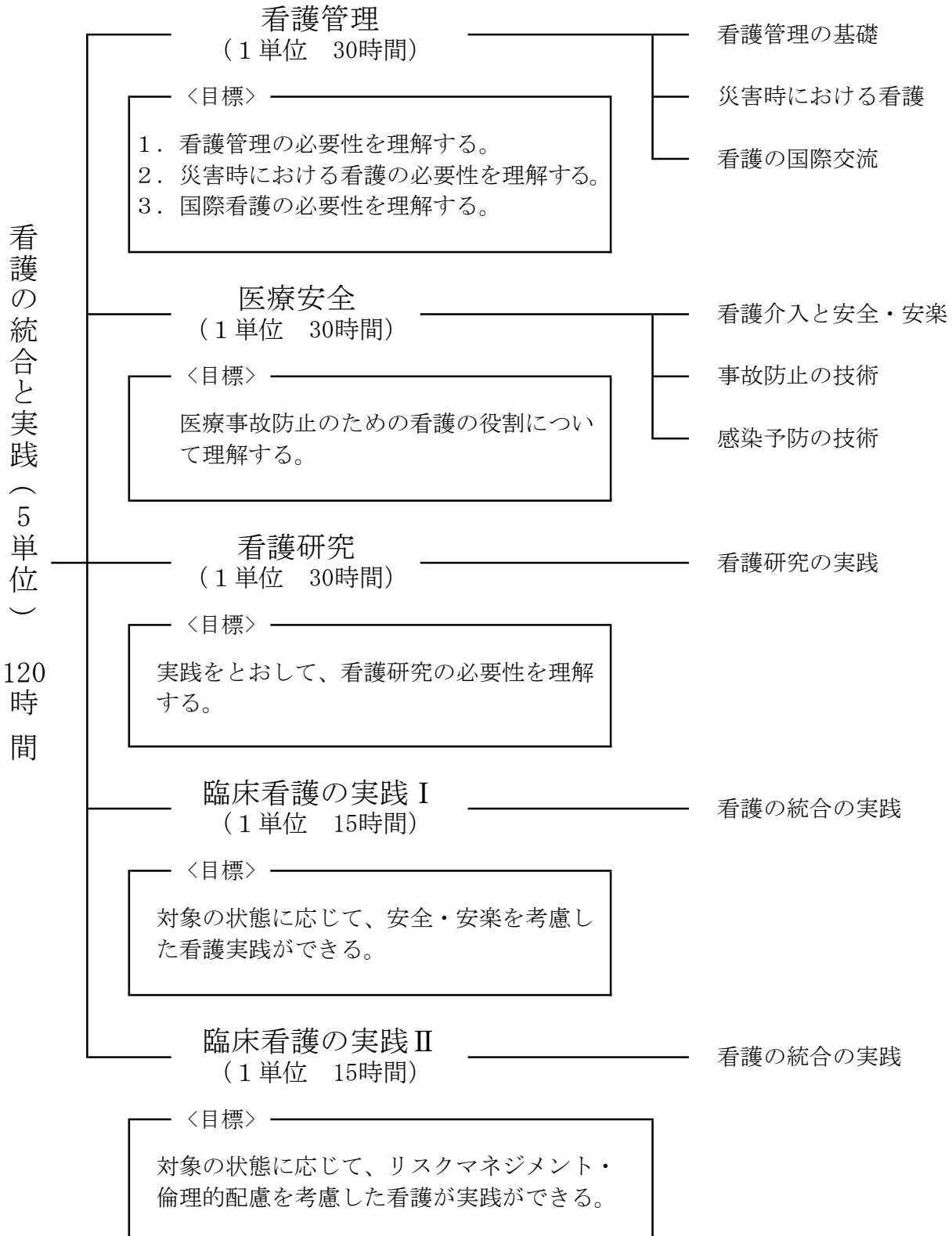
# 5.統合分野

- 1) 在宅看護技術Ⅱ
- 2) 看護管理
- 3) 医療安全
- 4) 看護研究
- 5) 臨床看護の実践Ⅱ

# 統合分野

## 看護の統合と実践

- 目的： 1. チームにおける看護師の役割を理解し、看護管理・医療安全についての基礎的能力を養う。  
2. 国際看護学の概念を理解し、国際看護の必要性を理解する。  
3. 各分野で学習した知識と技術を統合し、対象に安全で適切な看護を実践できる基礎的能力を養う。  
4. 実践を通して看護研究の基礎を学ぶ。



# 講 義 概 要

科目名	在宅看護技術Ⅱ	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	藤原敦子(看護師実務経験10年)			
在宅看護の方法を理解し、必要な基礎的技術を身につける				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護技術の特徴</li> <li>・在宅における日常生活の援助(食事・排泄・清潔・睡眠・移動)</li> <li>・在宅における処置を伴う援助 (在宅酸素療法・在宅人工呼吸療法・吸引・在宅中心静脈栄養法・経腸栄養法・ 腹膜透析・自己注射法・尿道留置カテーテル・ストーマケア)</li> <li>・薬物療法・服薬管理・褥瘡</li> <li>・終末期ケア・在宅緩和ケア</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院          新体系 看護学全書 在宅看護論 メヂカルフレンド社          根拠がわかる在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 在宅看護技術Ⅱ30時間のうち1時間を試験にあてる</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	看護管理	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①高川千春（看護実務経験18年）      ②鈴木直美（看護部長） ③三上育子（救急看護認定看護師）      ④泉谷勇（救急看護認定看護師）			
<授業のねらい> 1. 看護の機能を効果的に発揮するために必要な看護管理のあり方を理解する 2. 災害サイクルにおける看護の基礎知識について理解する 3. 国際看護学の概念を理解し、国際看護の必要性を理解する				
<講義内容> 15時間 ①担当：高川 <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理とは何か</li> <li>・看護管理と看護倫理</li> <li>・看護の質管理</li> <li>・看護管理の基礎</li> <li>・チーム医療</li> <li>・国際看護とグローバリゼーション</li> <li>・国際看護とは何か</li> <li>・医療安全と医療の質保障</li> <li>・講義の振り返り</li> </ul> 4時間 ②担当：鈴木（看護部長） <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護サービスの管理</li> <li>・看護管理システム</li> </ul> 2時間 ③担当：三上（救急看護認定看護師） <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害とこころのケア</li> </ul> 8時間 ④担当：泉谷（救急看護認定看護師） <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害医療の基礎知識</li> <li>・災害看護の役割</li> <li>・災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護</li> </ul>				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門分野 看護管理 医学書院 系統看護学講座 専門分野 災害看護学・国際看護学 医学書院				
<評価方法> 筆記試験 看護管理の全範囲について①担当が試験問題を作成する 30時間のうち1時間を試験に充てる <配点> 100点				

# 講 義 概 要

科目名	医療安全	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	①高瀬 啓一（看護師実務経験8年） ②松田 栄子（医療安全対策室課長） ③鈴木 祐介（臨床工学士）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 医療事故防止のための看護の役割について理解する</p>				
<p>&lt;講義内容&gt; 19時間 ①担当：高瀬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全を学ぶ意義</li> <li>・医療事故と看護業務</li> <li>・看護事故の構造</li> <li>・看護事故防止の考え方</li> <li>・業務領域をこえて共通する間違いと発生要因</li> <li>・医療安全とコミュニケーション</li> <li>・医療安全対策の国内外の潮流</li> <li>・採血演習</li> </ul> <p>8時間 ②担当：松田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療の補助に伴う事故防止 I 患者に投与する業務における事故防止</li> <li>・診療の補助に伴う事故防止 II 継続中の危険な行為の観察・管理における事故防止</li> <li>・療養上の世話の事故防止</li> <li>・看護師の労働安全衛生上の事故防止</li> <li>・組織的な安全管理体制への取り組み</li> </ul> <p>2時間 ③担当：鈴木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注射業務に用いる器具での事故防止</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門分野 医療安全 医学書院 医療安全ワークブック 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 医療安全の全範囲について①担当が作成 30時間のうち1時間を試験に充てる</p>				
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>				

# 講義概要

科目名	看護研究	3学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	山口 梨沙（看護師実務経験9年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の意義および事例研究のプロセスを理解し行動化する。</li> <li>2. 研究結果を論理的に考察し、原著論文と抄録を作成する。</li> </ol>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例研究とは</li> <li>・ 研究の主題を明確にする</li> <li>・ 目的を明確にする</li> <li>・ 文献検索とテーマの絞り込み</li> <li>・ 研究計画書作成</li> <li>・ 論文、抄録の構成</li> <li>・ プレゼンテーション（発表）の方法</li> <li>・ 発表準備</li> <li>・ 看護研究発表会・講評</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>黒田 裕子著 黒田裕子の看護研究 Step by Step 第4版 医学書院  南 裕子著 看護における研究 医学書院  釧路市立高等看護学院 原著論文規定</p>				
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>看護研究の取り組みのプロセス及び発表における態度や内容を評価表に基づき評価する</p>				
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>				

# 講義概要

科目名	臨床看護の実践Ⅱ	3学年	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	高瀬 啓一（看護師実務経験8年）			
<p>&lt;授業のねらい&gt; 対象の状態に応じて、リスクマネジメント・倫理的配慮を考慮した看護が実践できる</p>				
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的配慮の必要性和看護援助の優先順位の考え方</li> <li>・事例学習（患者個人の看護計画立案）</li> <li>・事例学習（2事例を受け持つスケジュール）</li> <li>・事例学習（時間切迫・多重課題での優先順位に配慮した行動計画）</li> <li>・時間切迫・多重課題の演習</li> </ul>				
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 系統看護学講座 専門分野 医療安全 医学書院 医療安全ワークブック 医学書院</p>				
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験と実技試験にて評価をする 臨床看護の実践Ⅱ 15時間のうち1時間を筆記試験と実技試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt; 100点 内訳：筆記試験50点 実技試験50点</p>				